

保護者アンケート調査結果

区分	調査目的	調査対象
保護者に対するアンケート調査	・保護者のニーズや課題感を把握するため（複式学級も含める） ・施設の適正規模や配置等を検討する際の基礎データとして活用するため ・計画に反映させるため	市内の学校に通学する小中学生の保護者
調査方法	配布・回収状況	調査設問
【配布・回答方法】 ・学校経由でのアンケート調査 ・WEB回答 【回答期間】 2026年2月12日-2026年2月27日	【対象者数】 867 【回収数】 479 【回収率】 55.2%	・基本属性 ・理想の学級数・人数 ・学校再編に対する考え方 ・必要な学校教育 ・子どもの進路

【複数回答の集計方法について】

- ・本調査では複数回答の集計に際し、延べ回答数に対する構成比を用いた積み上げ100%グラフを使用しています。複数回答は回答者数に対する選択率を示すの一般的ですが、学校間の比較を視覚的容易とするため、このような処理を行っています。

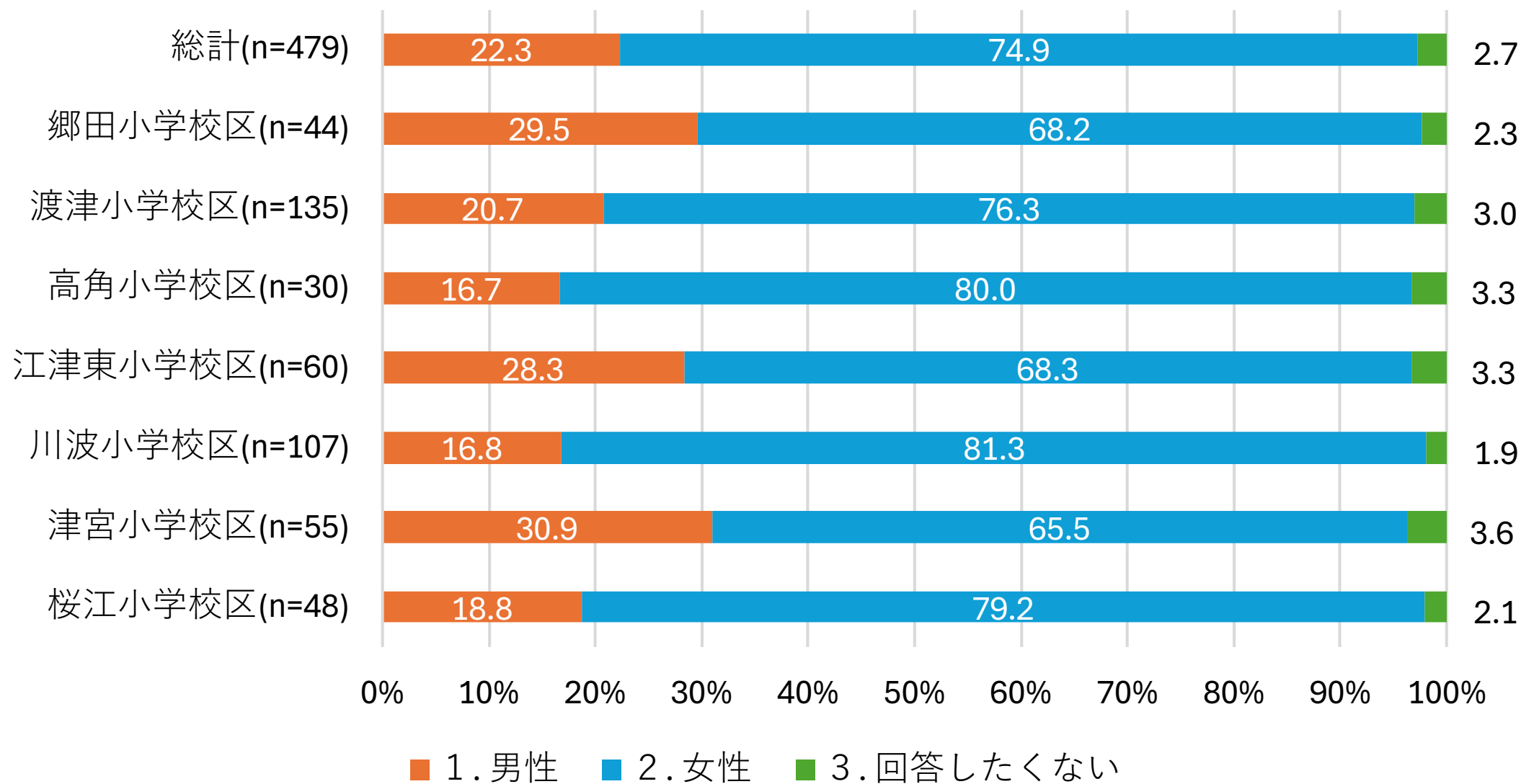
各選択肢の割合＝各選択肢の選択数 ÷ 全選択肢の延べ選択数

【注記】

- ・集計に際し、居住地を基準に保護者の方を校区別に振り分け、それに基づいてクロス集計を行っています。

●問1 回答者の性別 【単一回答】

• 全体として、男性は約22%、女性は約75%となっています。



●問2 回答者の居住地 【単一回答】

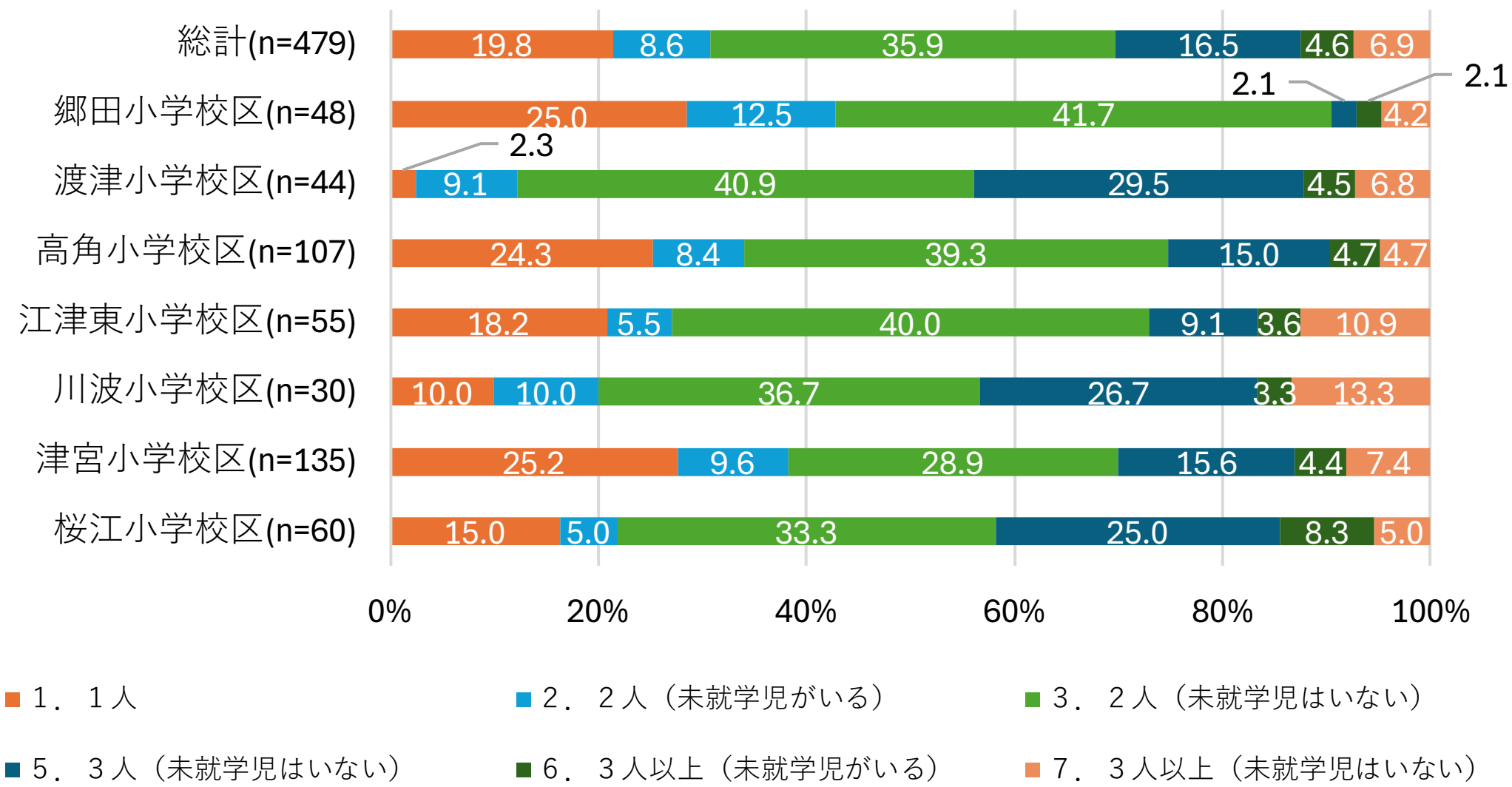
• 回答者の居住地は以下の通りです。

校区/居住地	波積地域	黒松地域	都治地域	浅利地域	松平地域	渡津地域	郷田地域	嘉久志地域	和木地域	都野津地域	二宮地域	跡市地域	敬川地域	波子地域	有福温泉地域	長谷地域	市山地域	川戸地域	谷住郷地域	川越地域	合計
郷田小学校区 (n=48)	-	-	-	-	16.7	-	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
渡津小学校区 (n=44)	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
高角小学校区 (n=107)	-	-	-	-	-	-	-	60.7	39.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
江津東小学校区 (n=55)	16.4	7.3	36.4	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
川波小学校区 (n=30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51.1	47.4	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	100
津宮小学校区 (n=135)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56.7	33.3	10.0	-	-	-	-	-	100
桜江小学校区 (n=60)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.7	41.7	18.3	18.3	10.0	100

単位: %

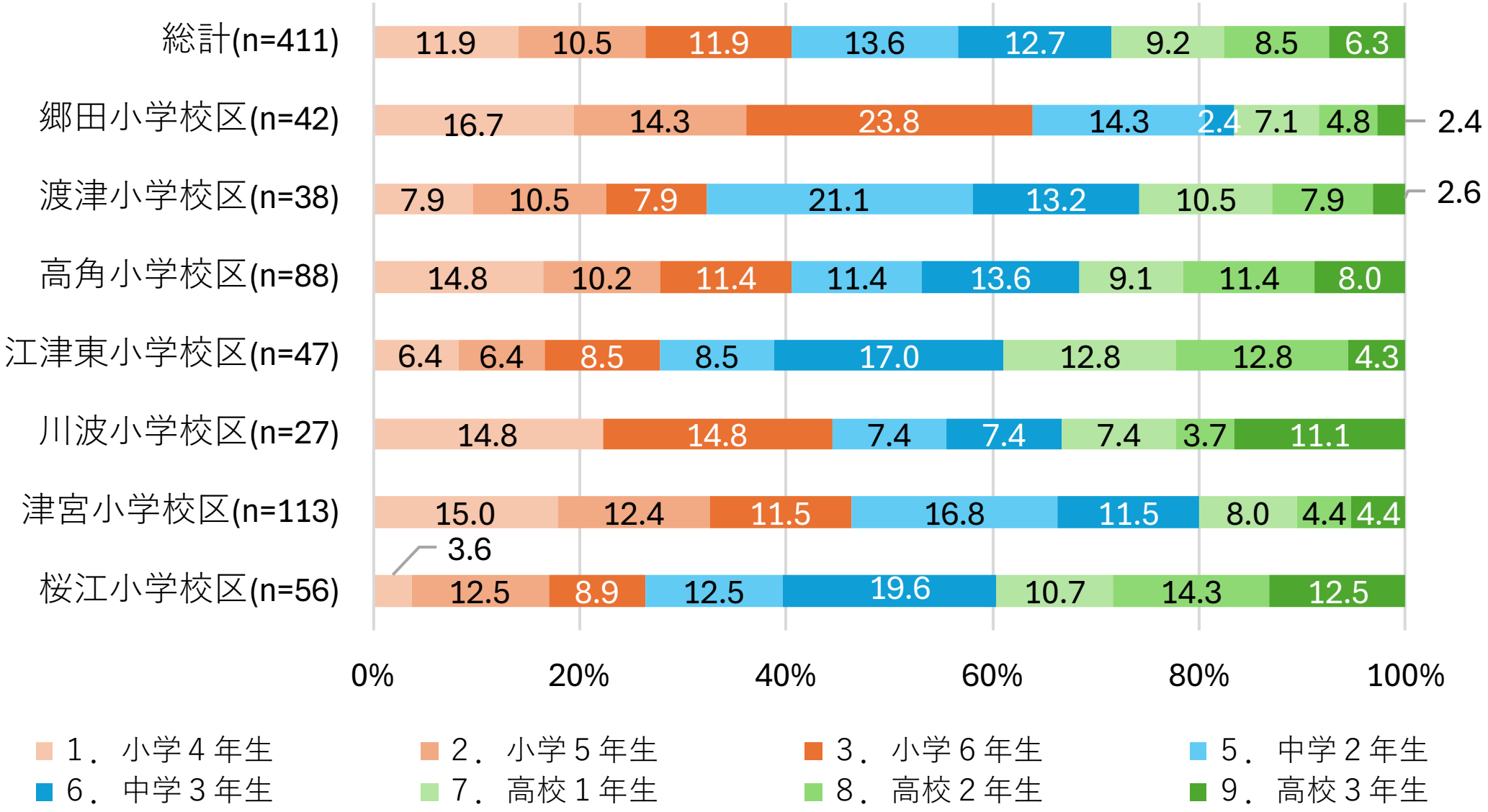
問3 子どもの人数 【単一回答】

- 全体として、「2人（未就学児はいない）」の割合が最も高く、次いで「1人」、「3人（未就学児はいない）」となっています。
- 校区别でも、いずれも「2人（未就学児はいない）」の割合が最も高くなっていますが、渡津小学校区、川波小学校区、桜江小学校区では「3人（未就学児はいない）」の割合が比較的高く、「1人」が低くなっています。



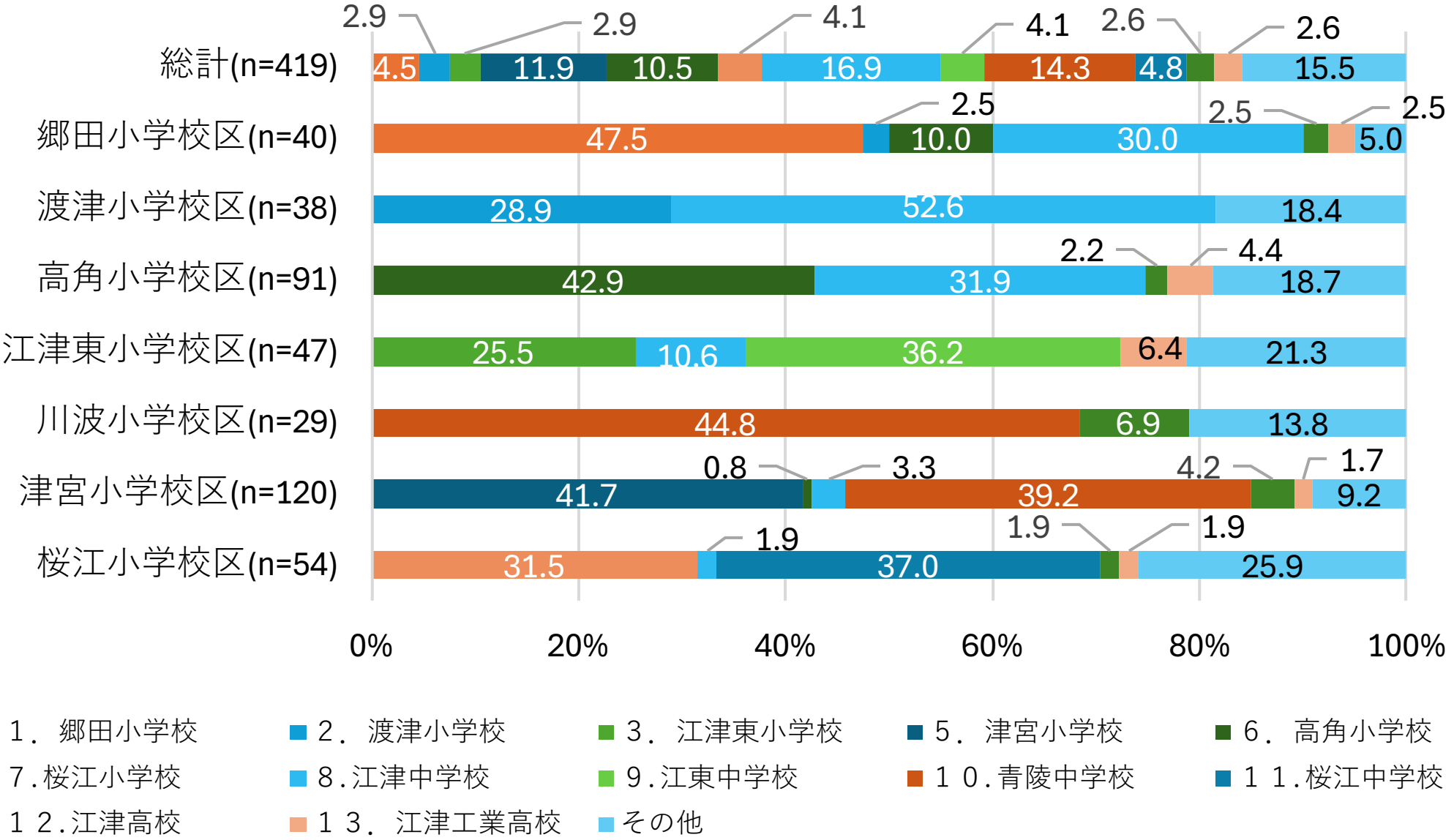
●問 4 子どもの学年（1人目） 【単一回答】

- 全体として、選択肢間に大きな差はみられません。
- 校区別でも選択肢間に大きな差は見られません。一部、郷田小学校区では「小学6年生」、渡津小学校区では「中学2年生」の割合が比較的高くなっています。



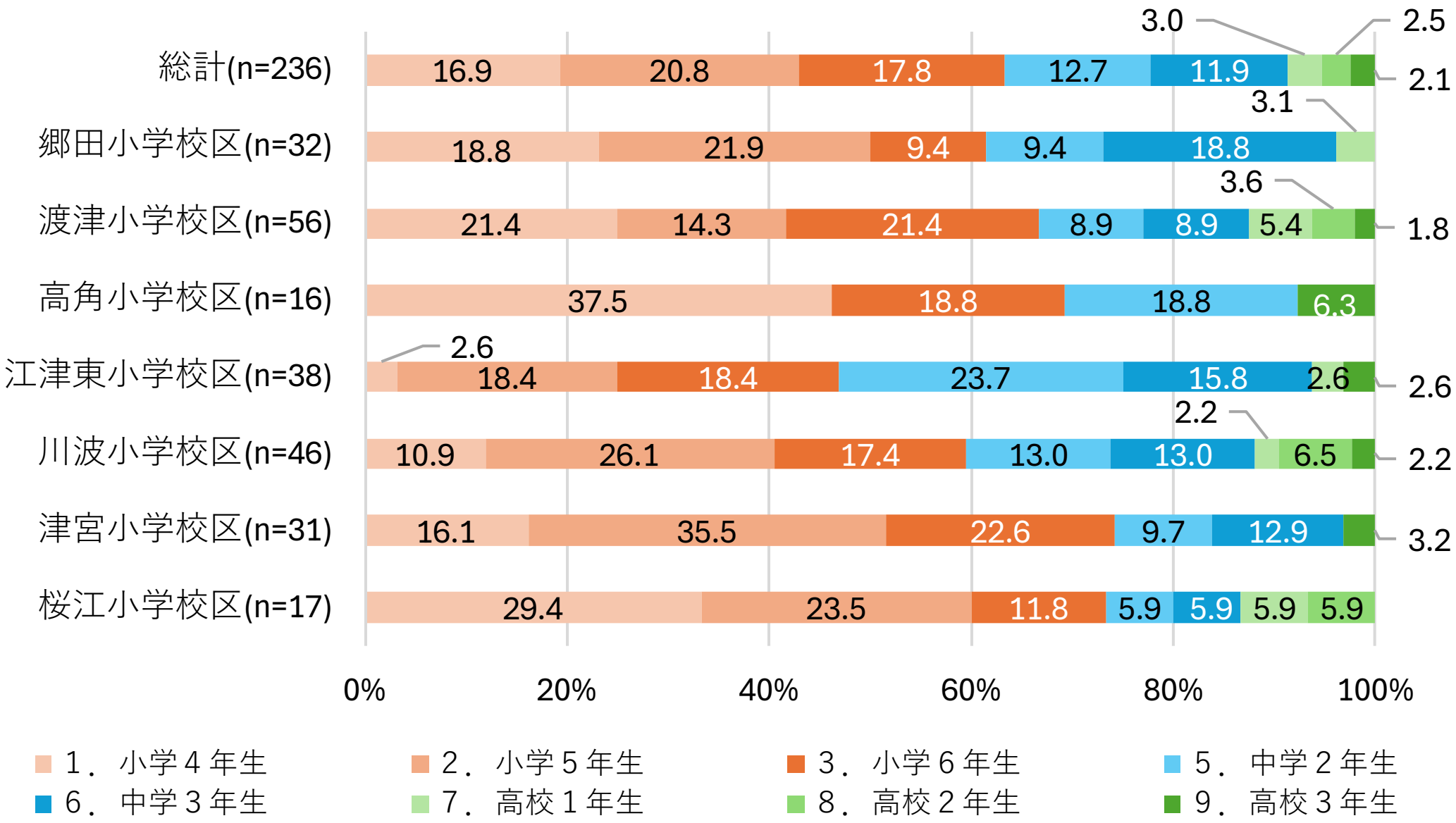
問5 子どもの学校（1人目）【単一回答】

- 全体として、対応する校区にある学校の選択率が高くなっています。
- 校区別にみると、郷田小学校区において高角小、江津東小学校において江津中学の割合がそれぞれ10%と、校区外の学校に通っているケースが一定程度みられます。



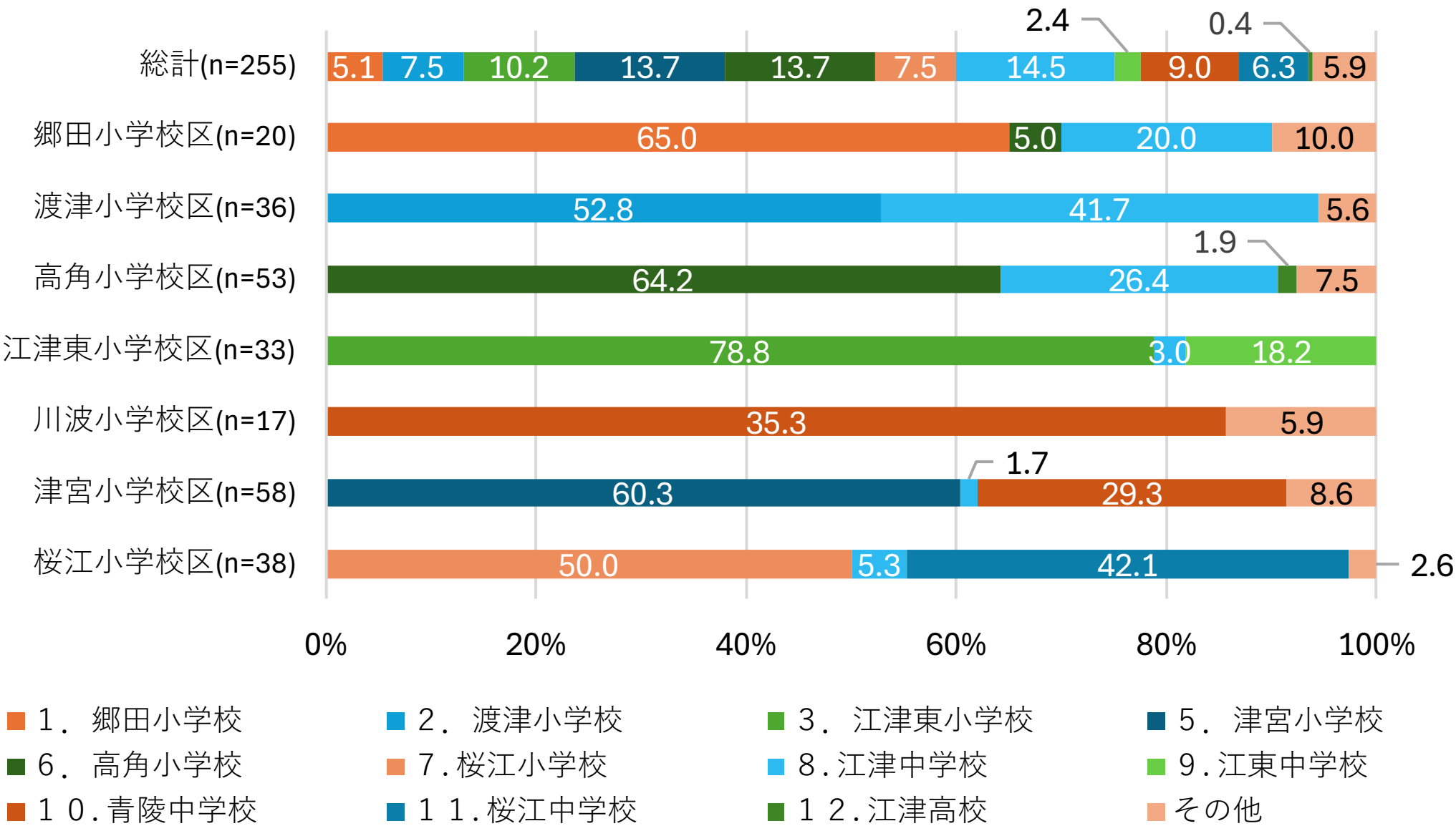
問 6 子どもの学年（2人目） 【単一回答】

- 全体として、選択肢間に大きな差はみられません。
- 校區別でも選択肢間に大きな差は見られません。一部、高角小では「小学4年生」の割合が高く、江津東小学校区では「小学5年生」、「中学2年生」の割合が高いなどの特徴があります。



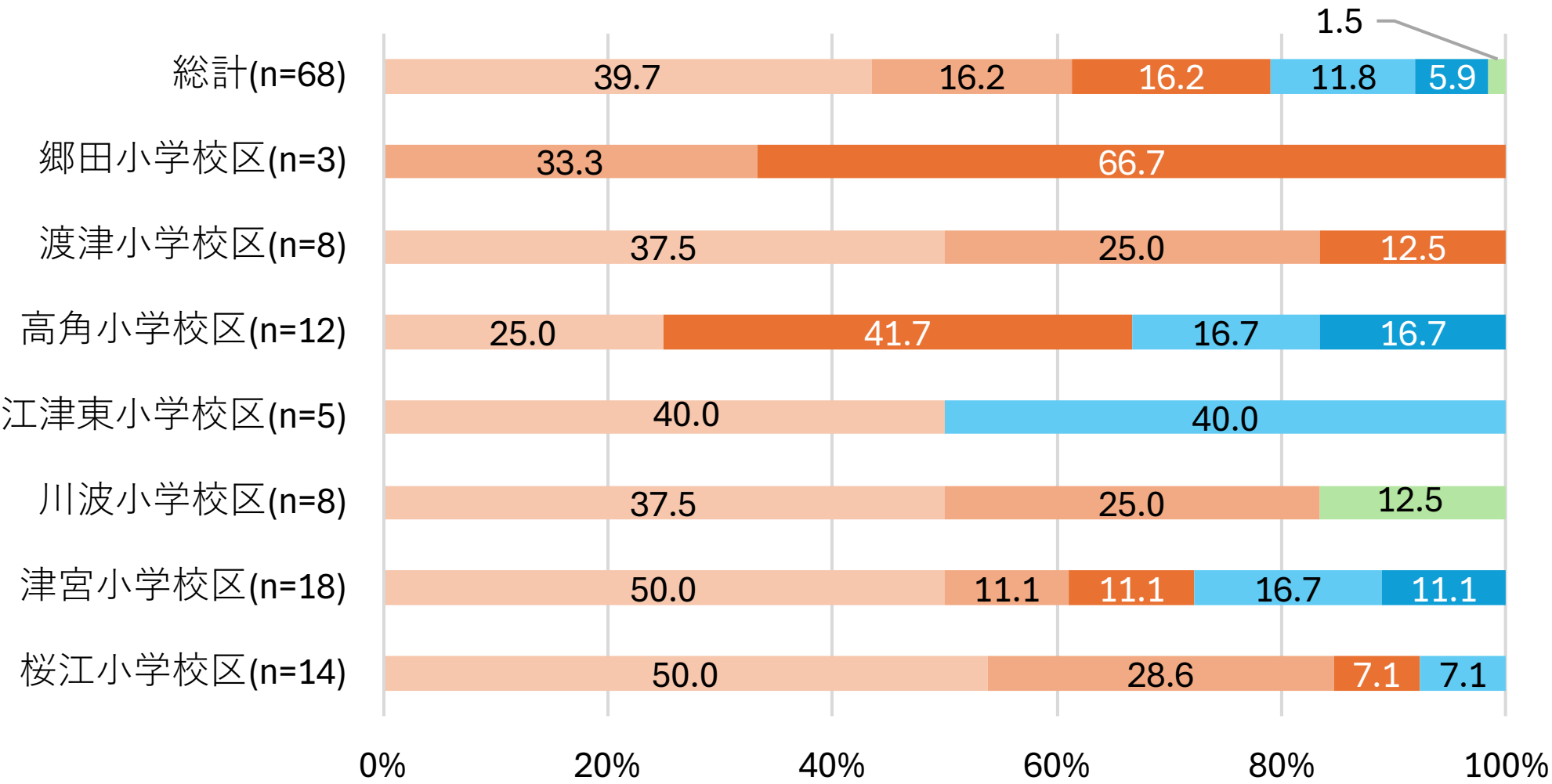
●問7 子どもの学校（2人目） 【単一回答】

• 全体として、対応する校区にある学校の選択率が高くなっています。



●問 8 子どもの学年（3人目） 【単一回答】

- 全体として、小学生以下の学年に偏っています。
- 校区别では、高角小学校区や江津東小学校区では、中学生以上の割合が比較的高くなっています。

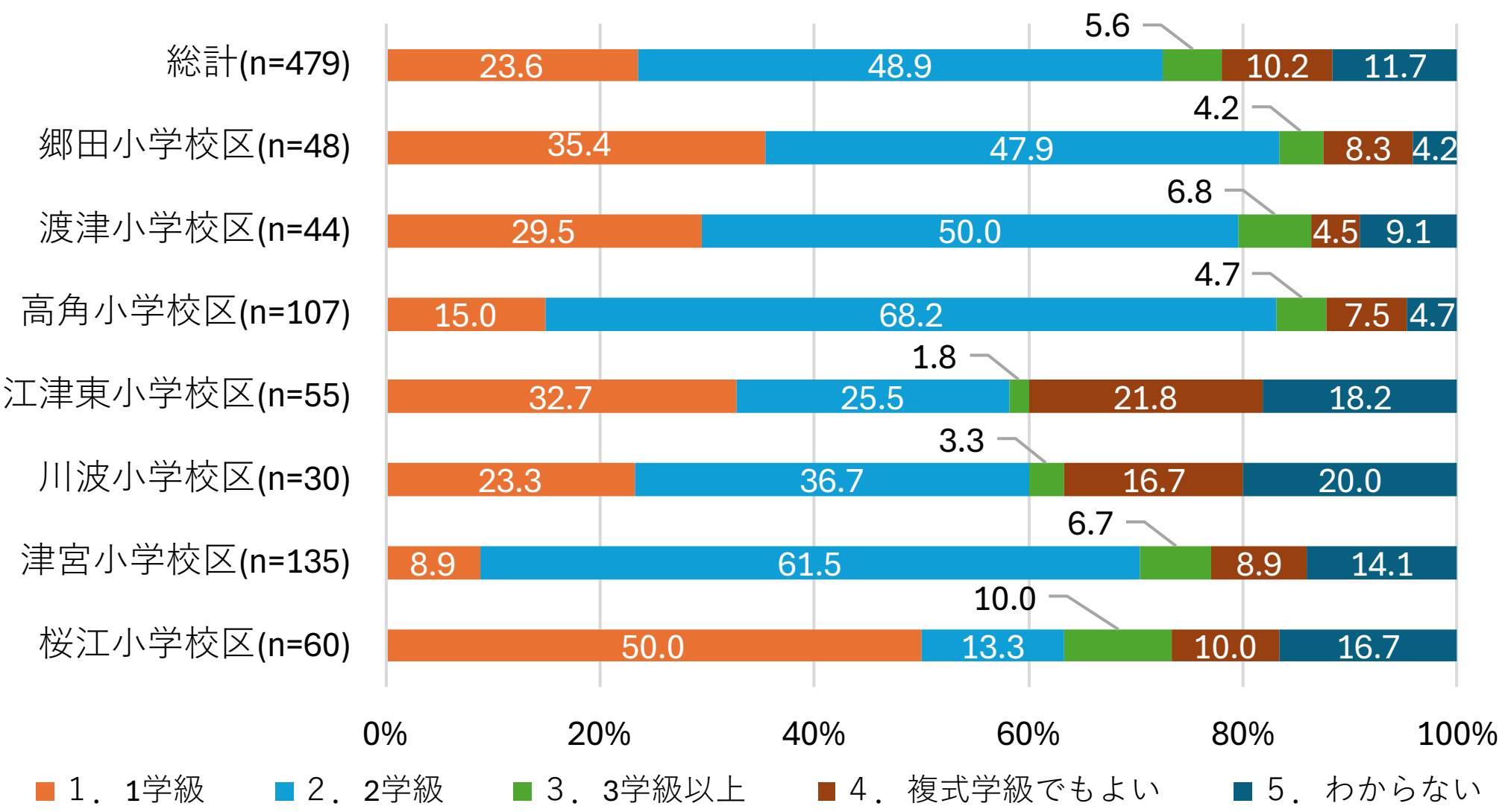


■ 1. 小学4年生 ■ 2. 小学5年生 ■ 3. 小学6年生 ■ 5. 中学2年生 ■ 6. 中学3年生 ■ 7. 高校1年生

- 回答者1名のため、非公開

●問 1 0 小学校における望ましい学級数【単一回答】

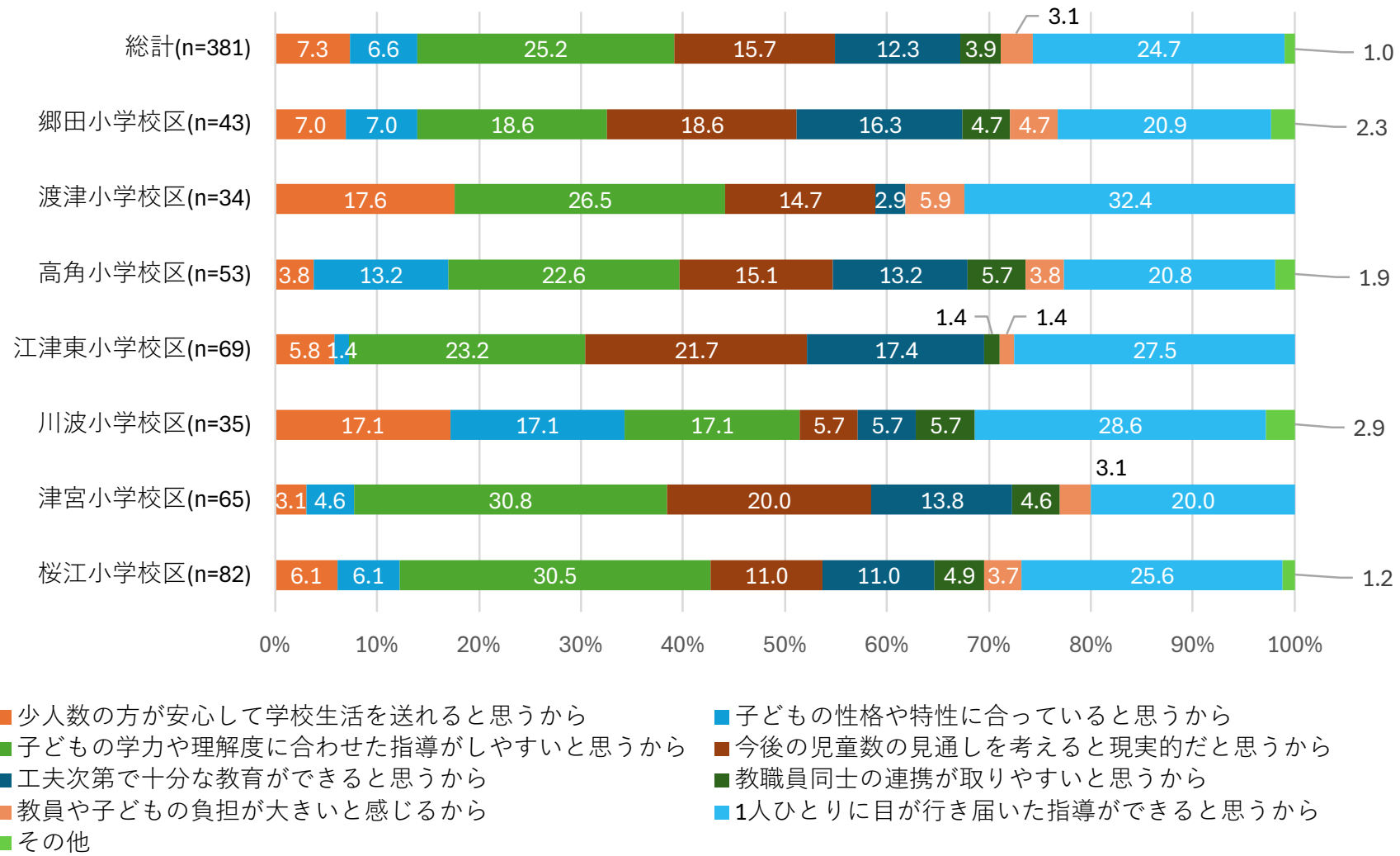
- 全体として「2学級」やそれ以上を希望する割合が約2/3となっています。「複式学級でもよい」と答えたのは約10%です。
- 地区別では、江津東小学校、川波小学校で「複式学級でもよい」の割合がいずれも15%以上と高くなっています。



●問 1 1 小学校における望ましい学級数の理由（1学級または複式学級） 【複数回答】

- 全体として「子供の学力や理解度に合わせた指導がしやすい」、「1人ひとりに目が行き届いた指導ができると思うから」の割合が高く、次いで「今後の児童数の見通しを考えると現実的」となっています。
- 地区別には大きな差はみられませんが、川波小学校区のみ「子どもの性格や特性に合っていると思うから」の割合が高くなっています。

※ nは延べ選択数

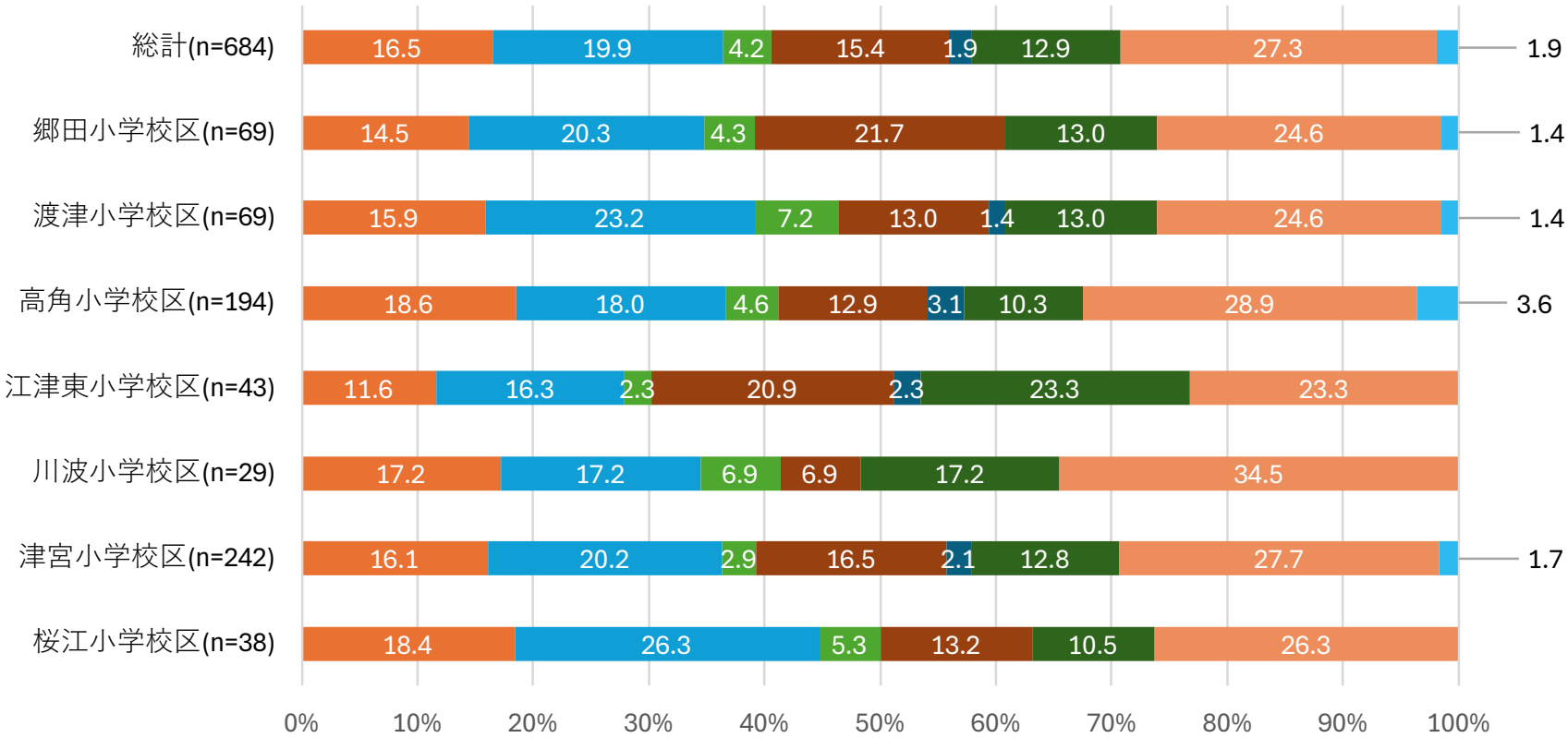


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 1 2 小学校における望ましい学級数の理由（2学級以上）【複数回答】

- 全体として「クラス替えなどを通じて人間関係を学べる」が最も高く、次いで「複数の考え方や意見に触れる機会」、「授業や学校生活に適度な競争や刺激」となっています。子どもの成長を促すような選択肢が選ばれているといえます。
- 地区別には大きな差はみられませんが、江東小学校区では「行事や活動を安定して実施できると思うから」が他と比較して高くなっています。

※ nは延べ選択数

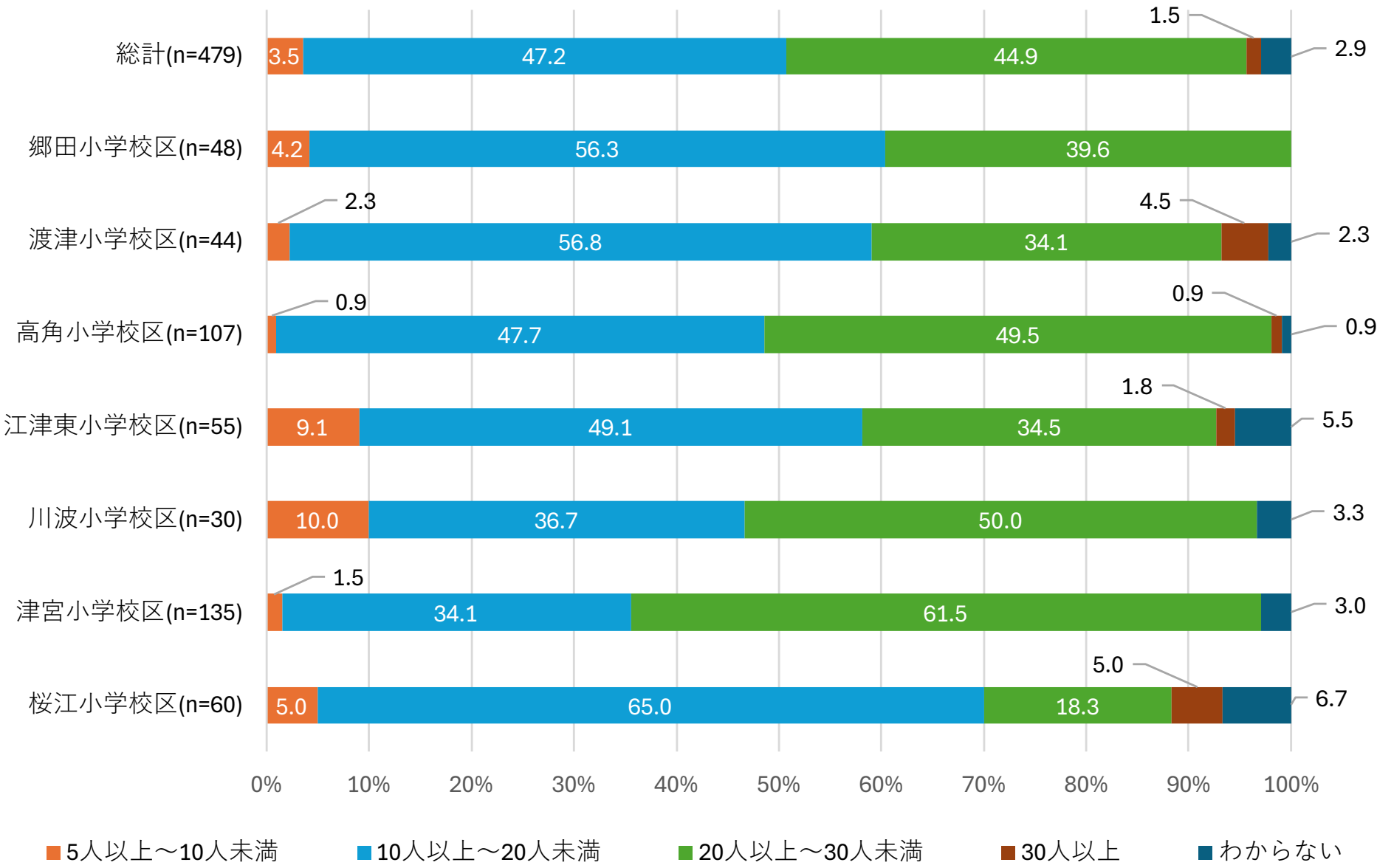


- 友だち関係が広がりやすいと思うから
- 複数の考え方や意見に触れる機会が増えると思うから
- 将来の学校運営や維持管理を考えると必要だと思うから
- 授業や学校生活に適度な競争や刺激が生まれると思うから
- 子どもの性格や特性に合っていると思うから
- 行事や活動を安定して実施できると思うから
- クラス替えなどを通じて人間関係を学べると思うから
- その他

* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

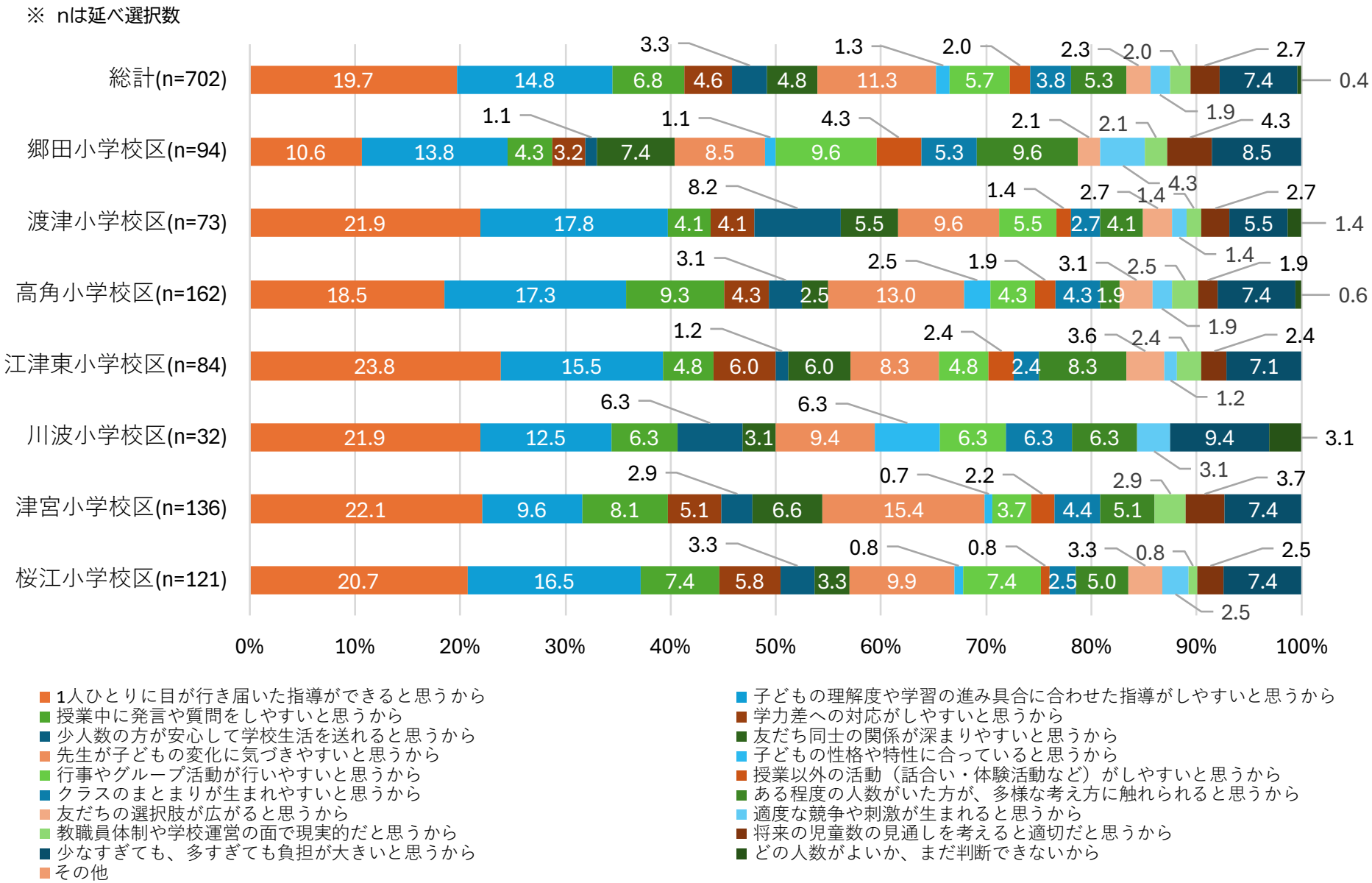
問 1 3 小学校における望ましい学級人数 【単一回答】

- 全体として、「10人以上～20人未満」、「20人以上～30人未満」がほぼ同値であり、合わせて90%を超えています。
- 校区别では、川波小学校区、津宮小学校区で「20人～30人未満」の割合が比較的高く、桜江小学校区では「10人～20人未満」が2/3を占めています。



●問 1 4 小学校における望ましい学級人数の理由（10人以上～20人未満）【複数回答】

- 全体として「1人ひとりに目が行き届いた指導ができる」「子どもの理解度や学習の進み具合に合わせた指導がしやすい」の割合が最も高くなっています。
- 校区别にみると、郷田小学校区では「1人ひとりに目が行き届いた指導ができる」の割合がやや低くなっています。



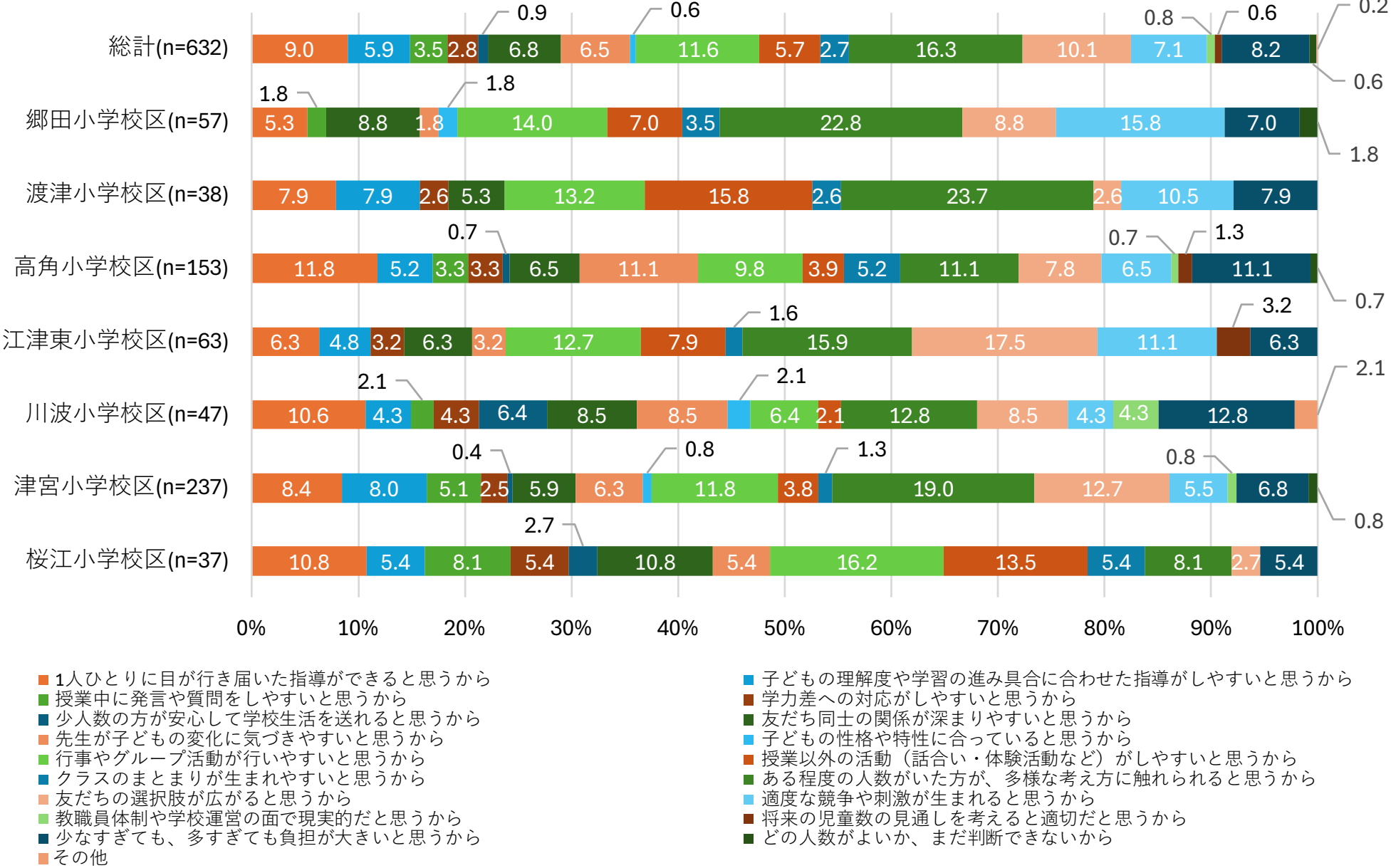
* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

16

●問 1 4 小学校における望ましい学級人数の理由（20人以上～30人未満）【複数回答】

- 全体として、選択肢間に大きな差はみられませんが、「行事やグループ活動が行いやすい」「ある程度の人数がいた方が、多様な考え方に触れられる」は比較的高い割合になっています。

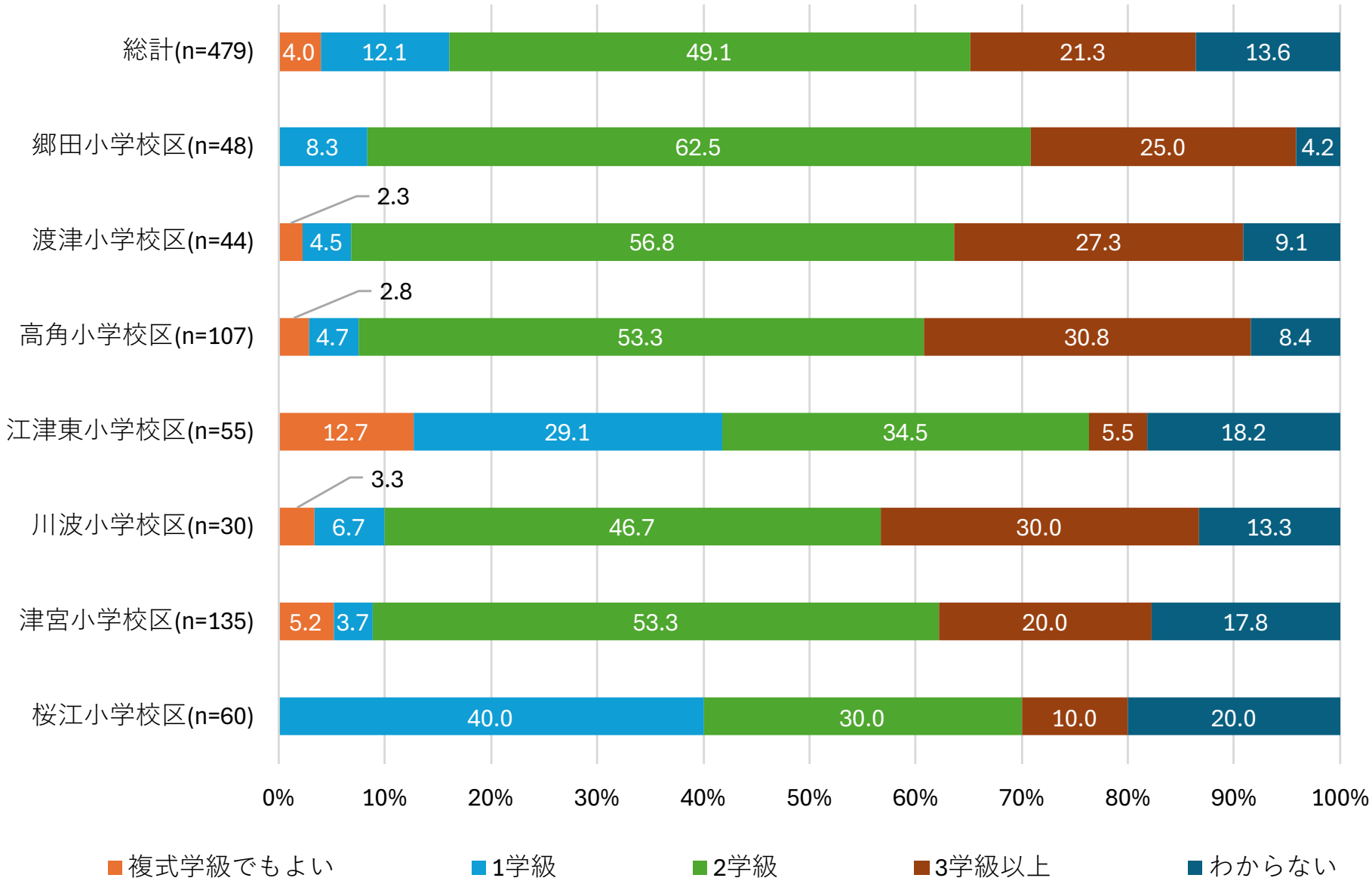
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 1 5 中学校における望ましい学級数【単一回答】

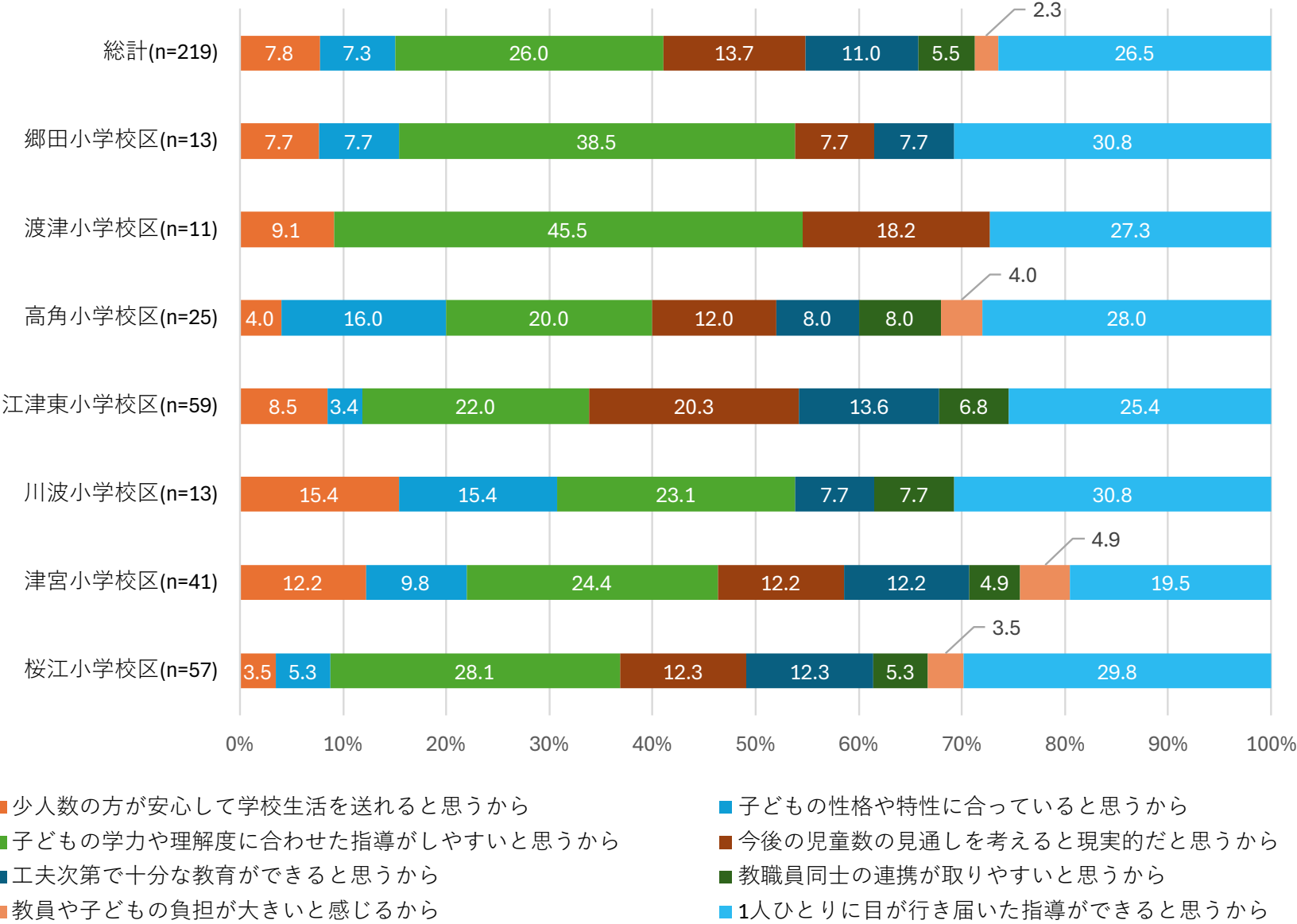
- 全体として「2学級」の割合が最も高くなっています。
- 江津東小学校区、桜江小学校区では「1学級」の割合がそれぞれ約30%、約40%となっています。



●問 1 6 中学校における望ましい学級数の理由（1学級または複式学級） 【複数回答】

- 全体として「子供の学力や理解度に合わせた指導」、「一人ひとりに目が行き届いた指導ができる」の割合が高くなっています。学級が少ないことの教育的メリットを考慮した結果と考えられます。

※ nは延べ選択数

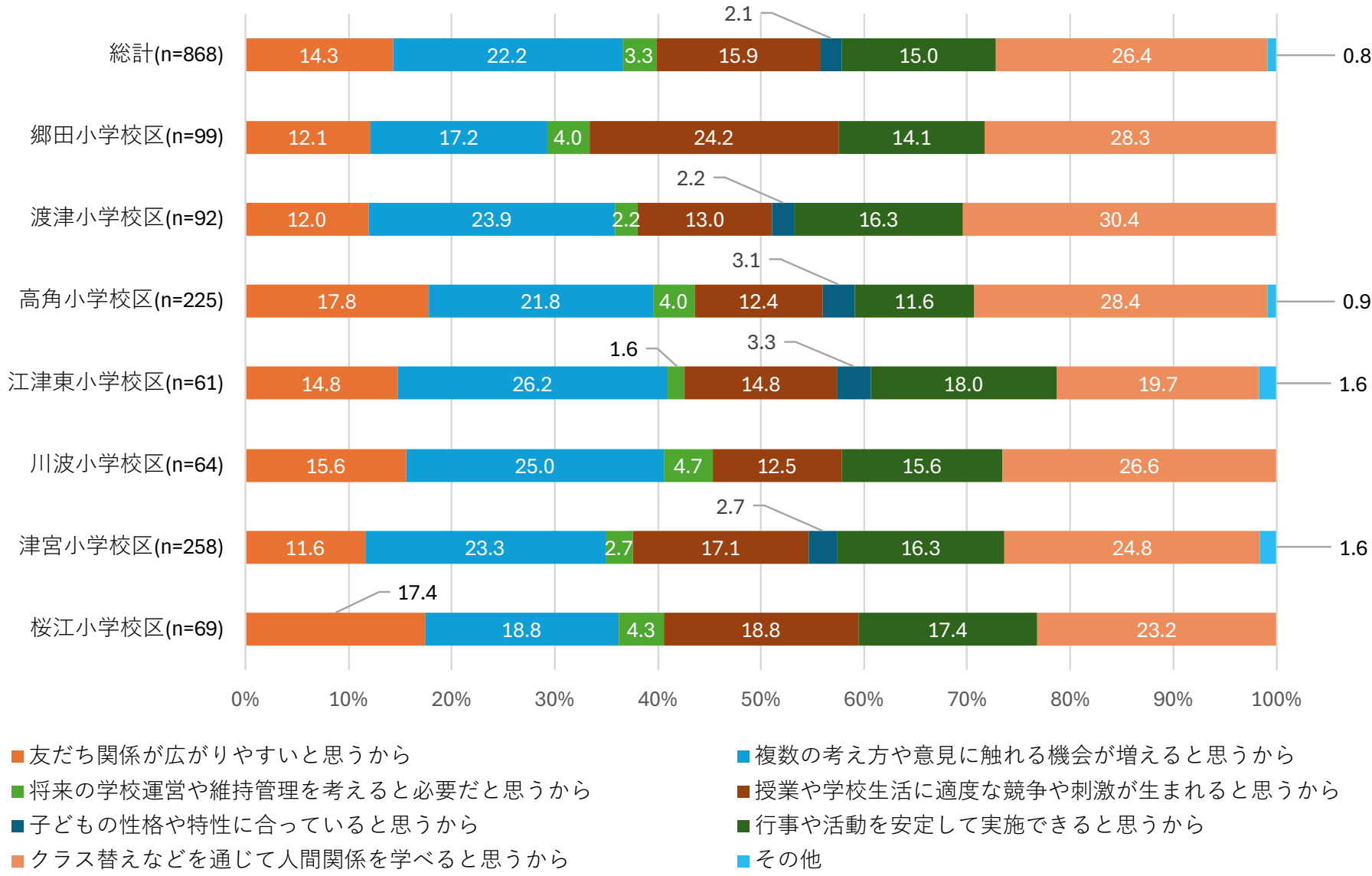


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

問 1 7 中学校における望ましい学級数の理由（2学級以上）【複数回答】

- 全体として「複数の考え方に触れる機会」「クラス替えなどを通じて人間形成」の割合が高い一方、「将来の学校運営や維持管理」「子どもの性格や特性に合っている」はいずれも5%以下となっています。

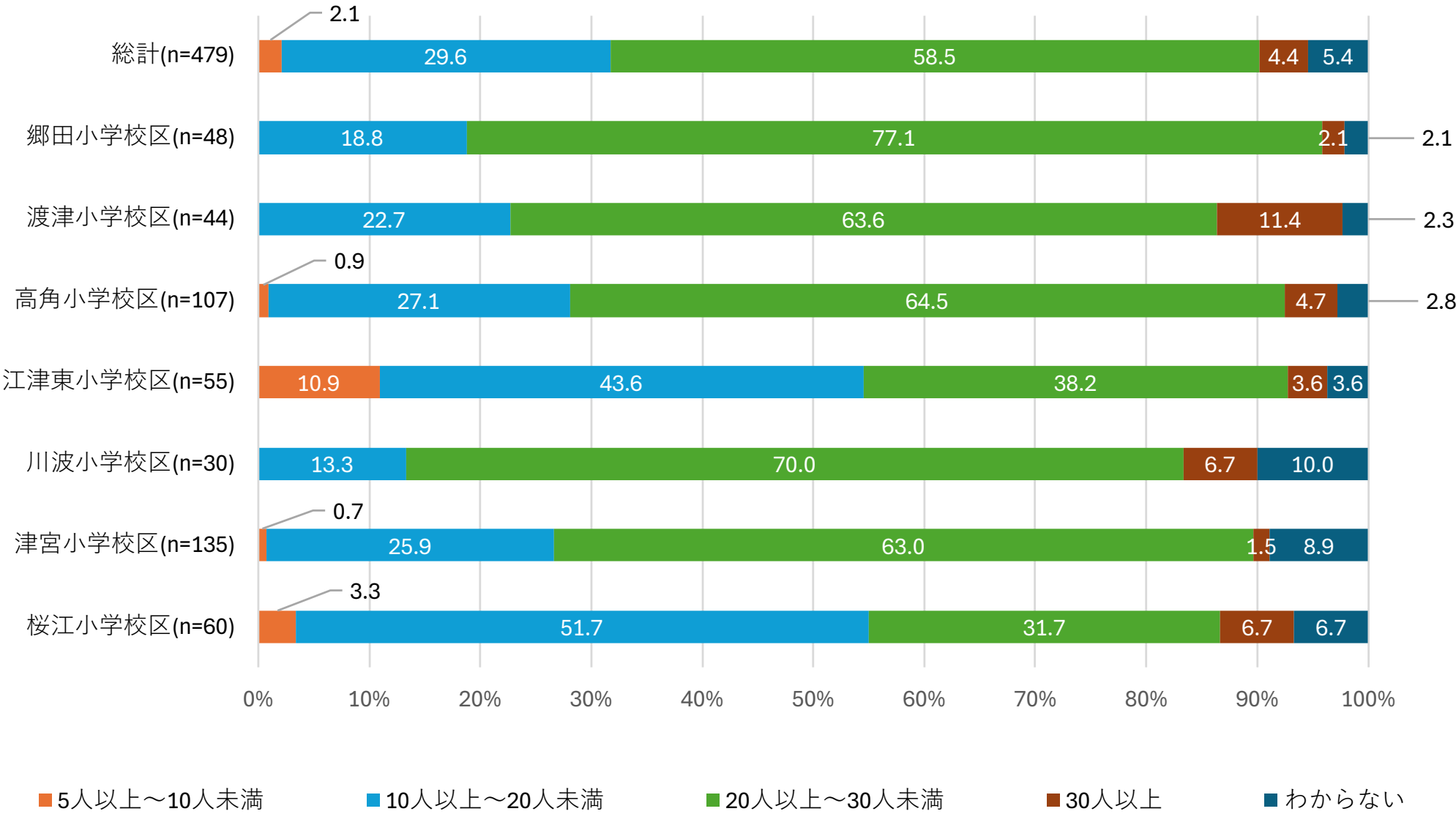
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 1 8 中学校における望ましい学級人数【単一回答】

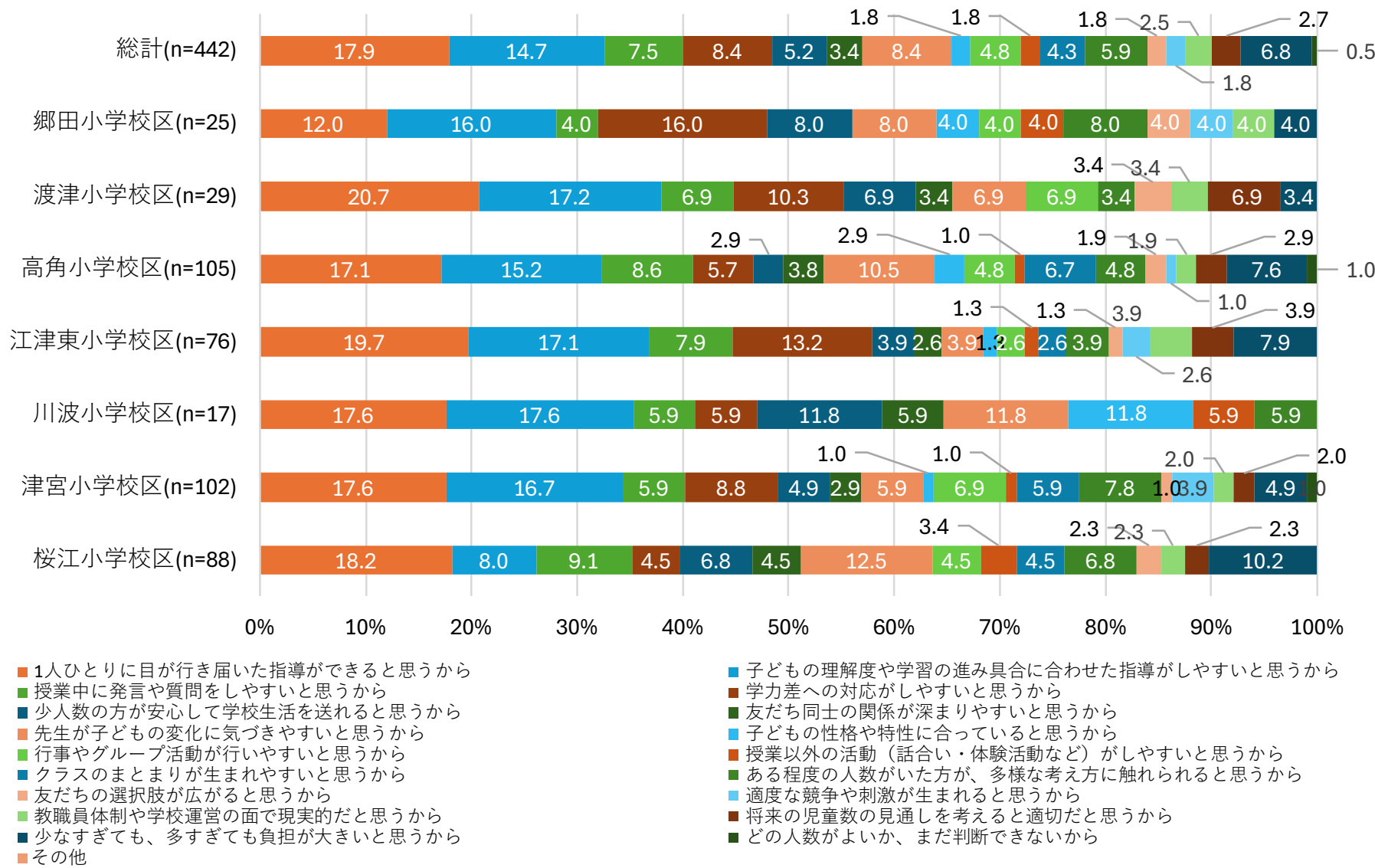
- 全体として「20人以上～30人未満」の割合が最も高くなっています。
- 江津東小学校区と桜江小学校区では「10人以上～20人未満」の割合が最も高くなっています。



●問 1 9 中学校における望ましい学級人数の理由（10人以上～20人未満）【複数回答】

- 全体として「1人一人に目が行き届いた指導ができる」「子どもの理解度や学習の進み具合に合わせた指導がしやすい」の割合が比較的高くなっています。
- 校区别にみると、郷田小学校区では「学力差への対応がしやすい」、川波小学校区では「クラスのまとまりが生まれやすい」が他校区よりも高くなっています。

※ nは延べ選択数

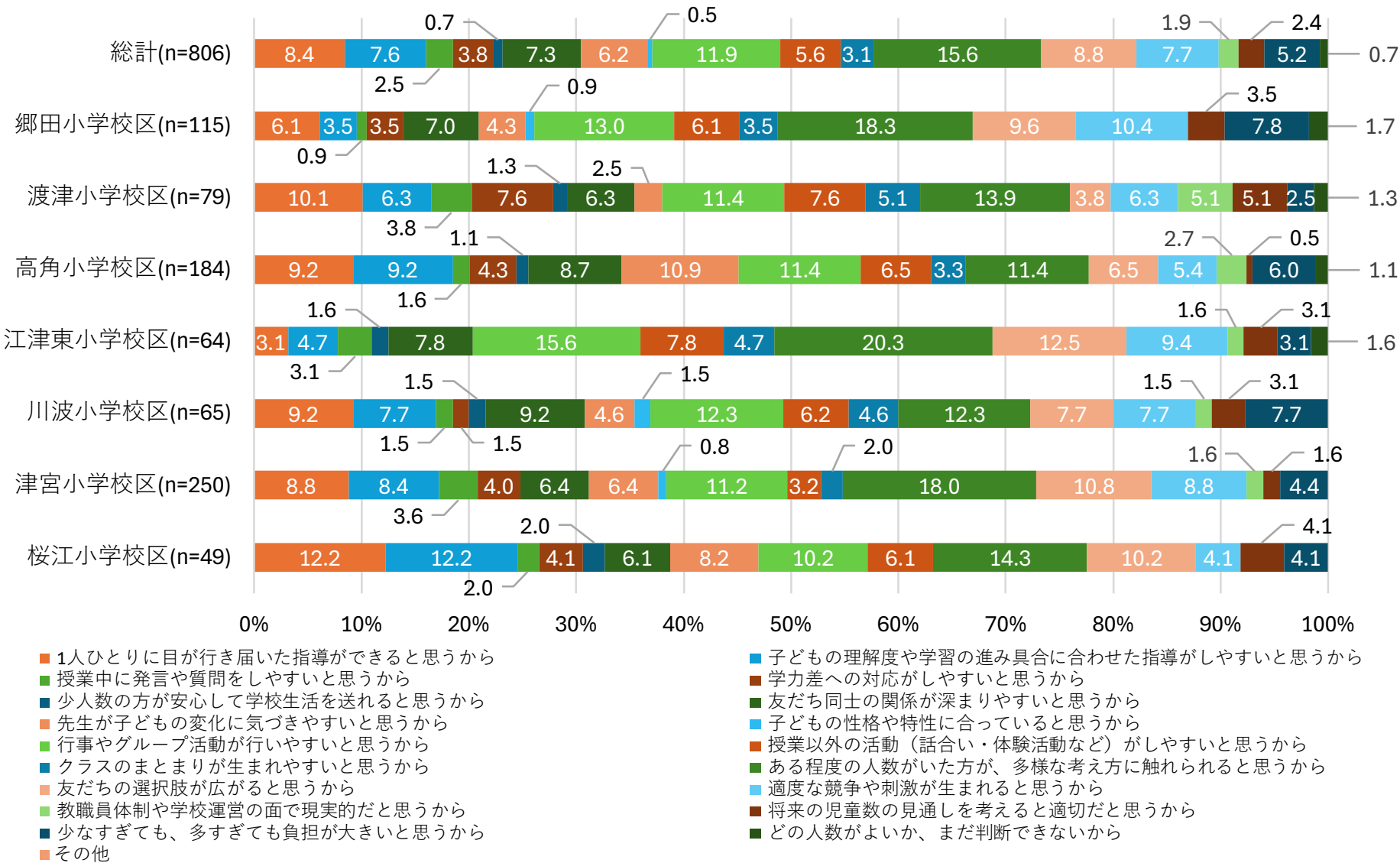


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 1 9 中学校における望ましい学級人数の理由（20人以上～30人未満）【複数回答】

- 全体として「行事やグループ活動が行いやすい」「ある程度の人数がいた方が、多様な考え方に触れられる」の割合が比較的高くなっています。
- 校区别では大きな差はありません。江津東小学校区において「先生が子どもの変化に気づきやすい」の回答は見られませんでした。

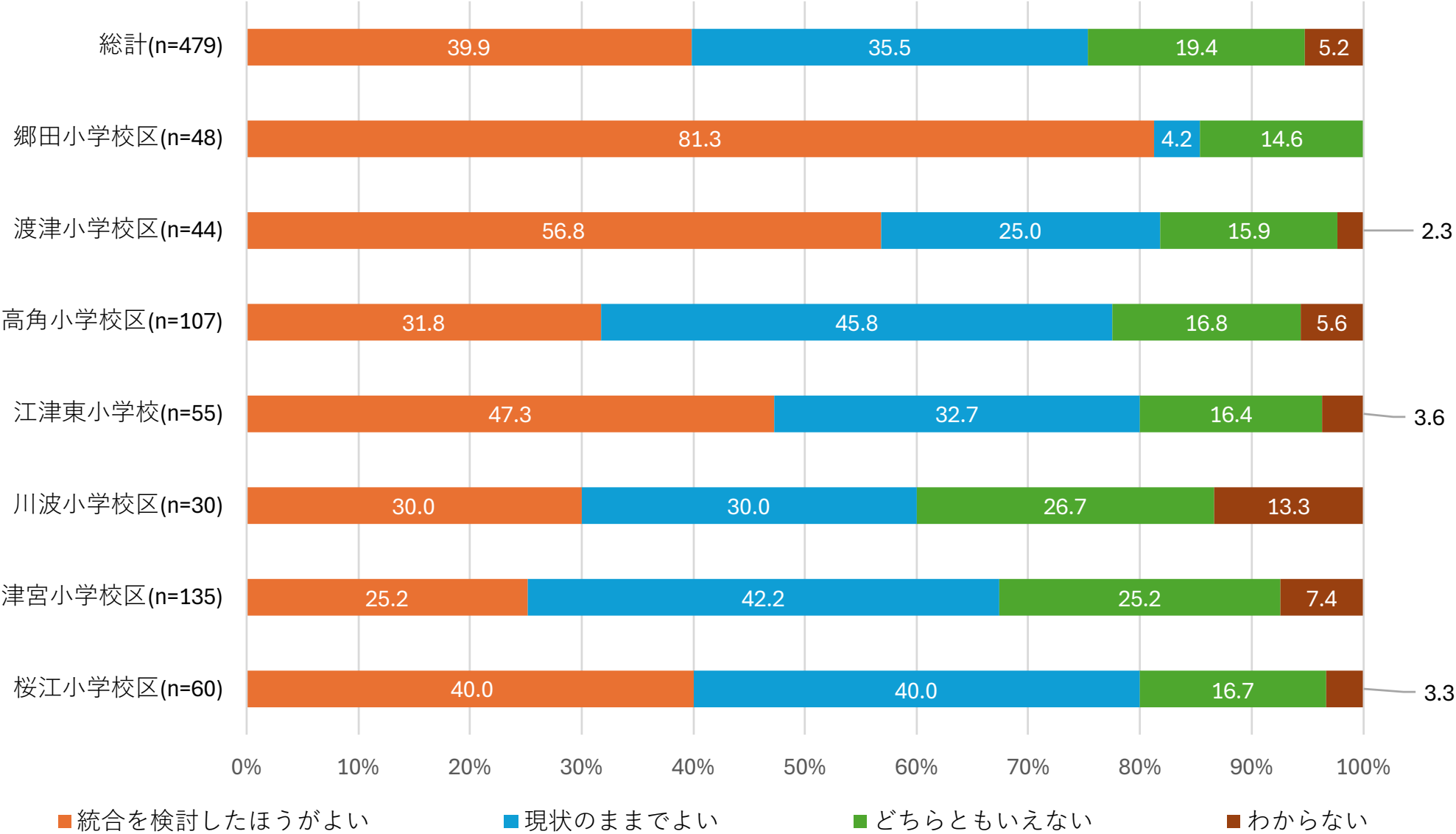
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 2 0 現在居住中の小学校区の再編についての意向 【単一回答】

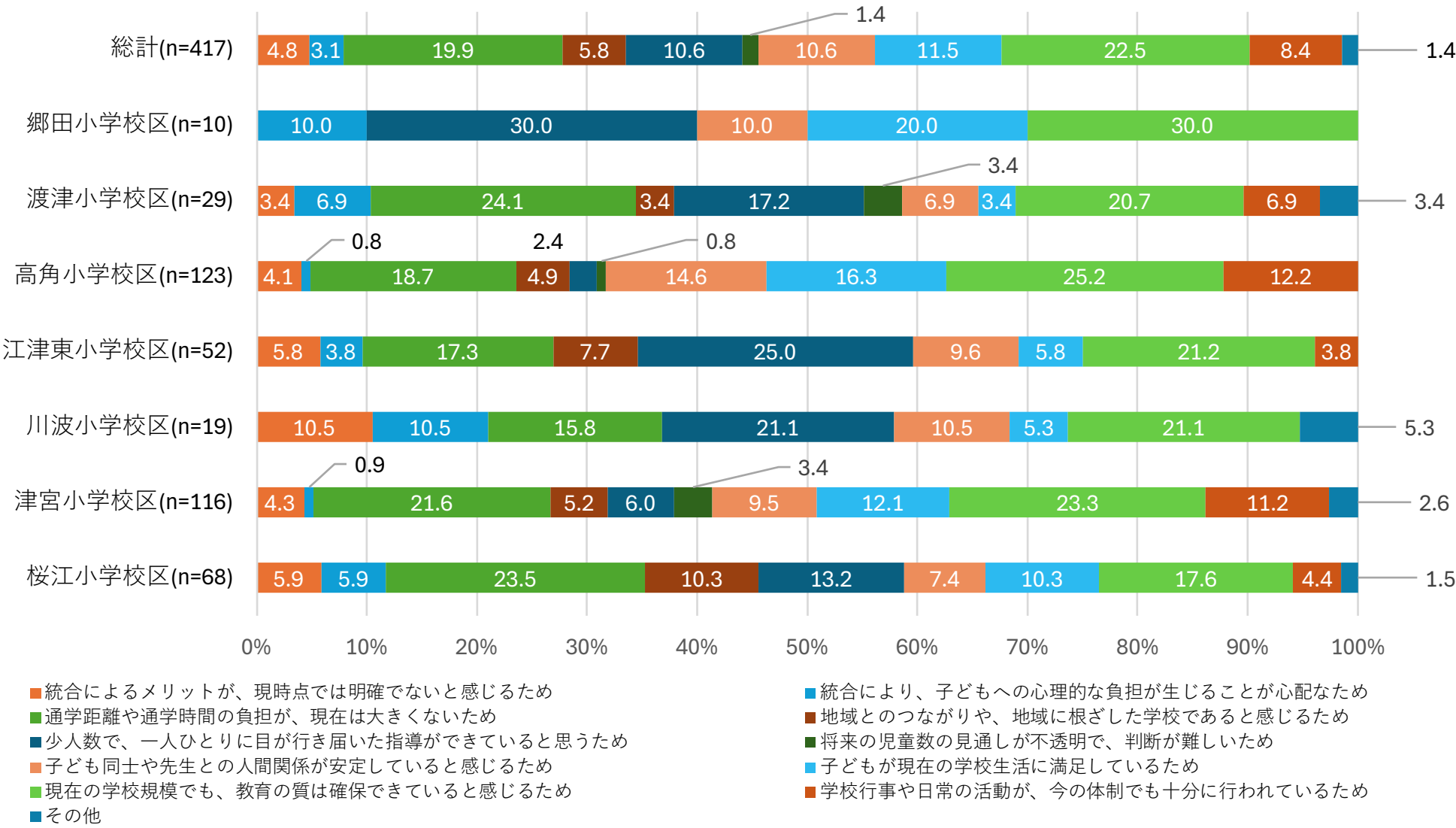
- 全体として「統合を検討したほうがよい」「現状のままでよい」はほぼ 1 : 1 となっています。
- 校区别では、郷田小学校区は「統合を検討」が約80%と突出する一方、江東小学校区、川波小学校区、津宮小学校区、桜江小学校区では35%前後にとどまるなど、校区によって意向が異なります。



●問 2 1 現在居住中の小学校区の再編についての意向（現状のまま）【複数回答】

- 全体として「通学距離や通学時間の負担が現在は大きくない」、「現在の学校規模でも教育の質が確保できている」の割合が高くなっています。
- 校区别では、「少人数で一人ひとりに目が行き届いた指導ができています」の割合に大きな差がみられます。

※ nは延べ選択数

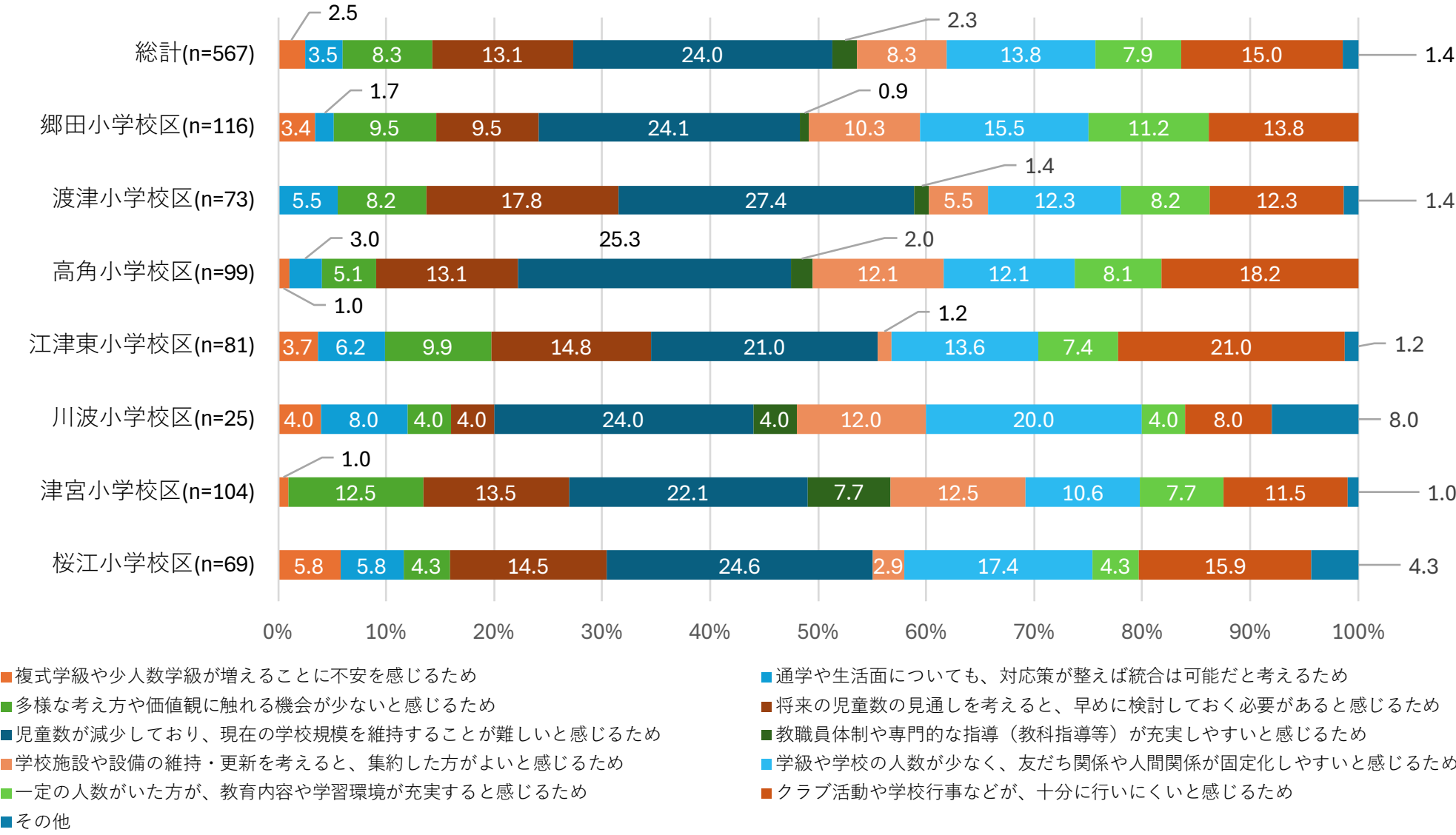


* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 2 2 現在居住中の小学校区の再編についての意向（統合を検討）【複数回答】

- 全体として「児童数が減少しており、現在の学校規模の維持が難しい」の割合が最も高く、「将来の児童数の見通しから早めに検討する必要がある」、「学級や学校の人数が少なく、人間関係が固定化しやすい」、「クラブ活動や学校行事が行いにくい」の割合が高くなっています。

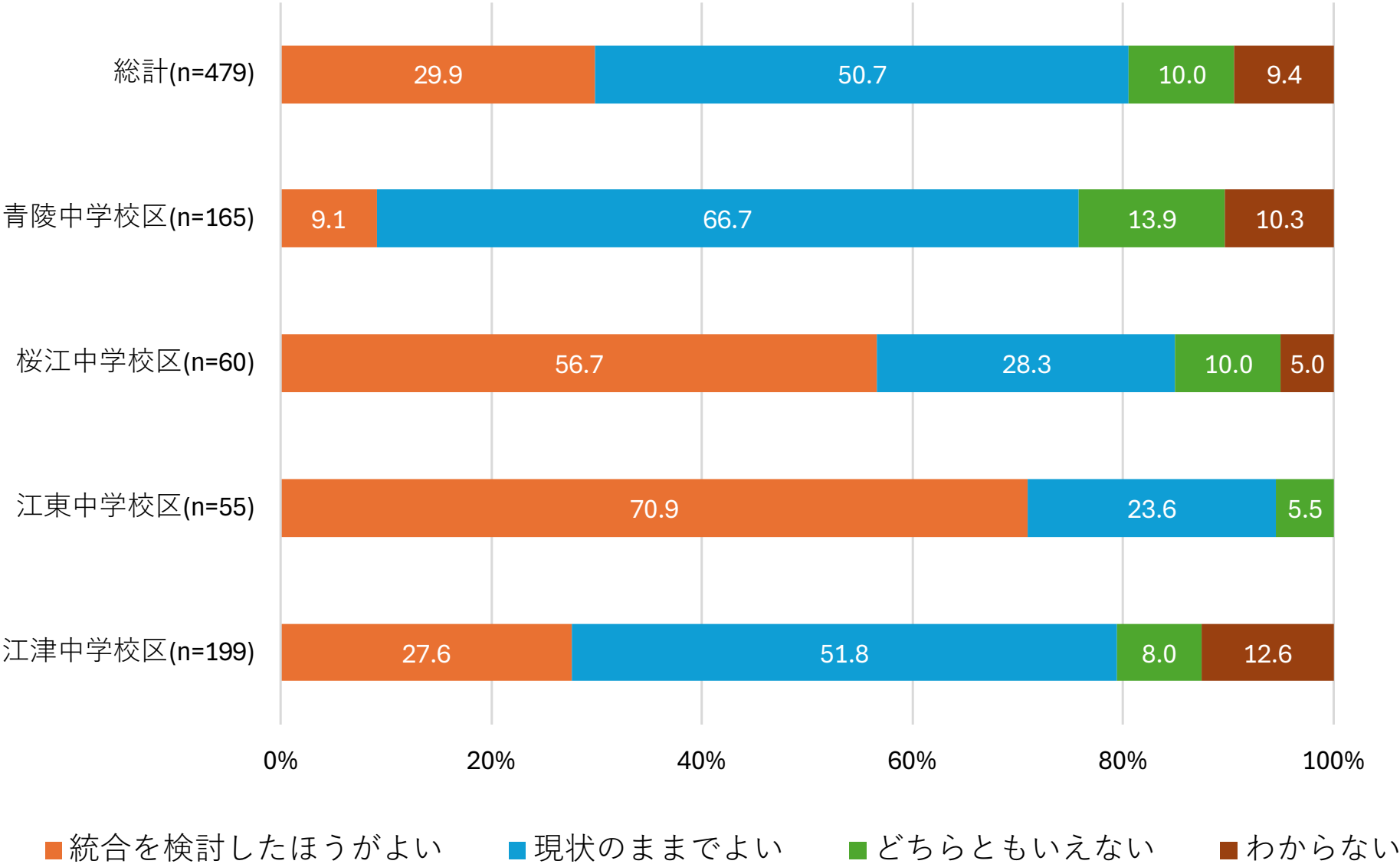
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 2 3 現在居住中の中学校区再編についての意向 【単一回答】

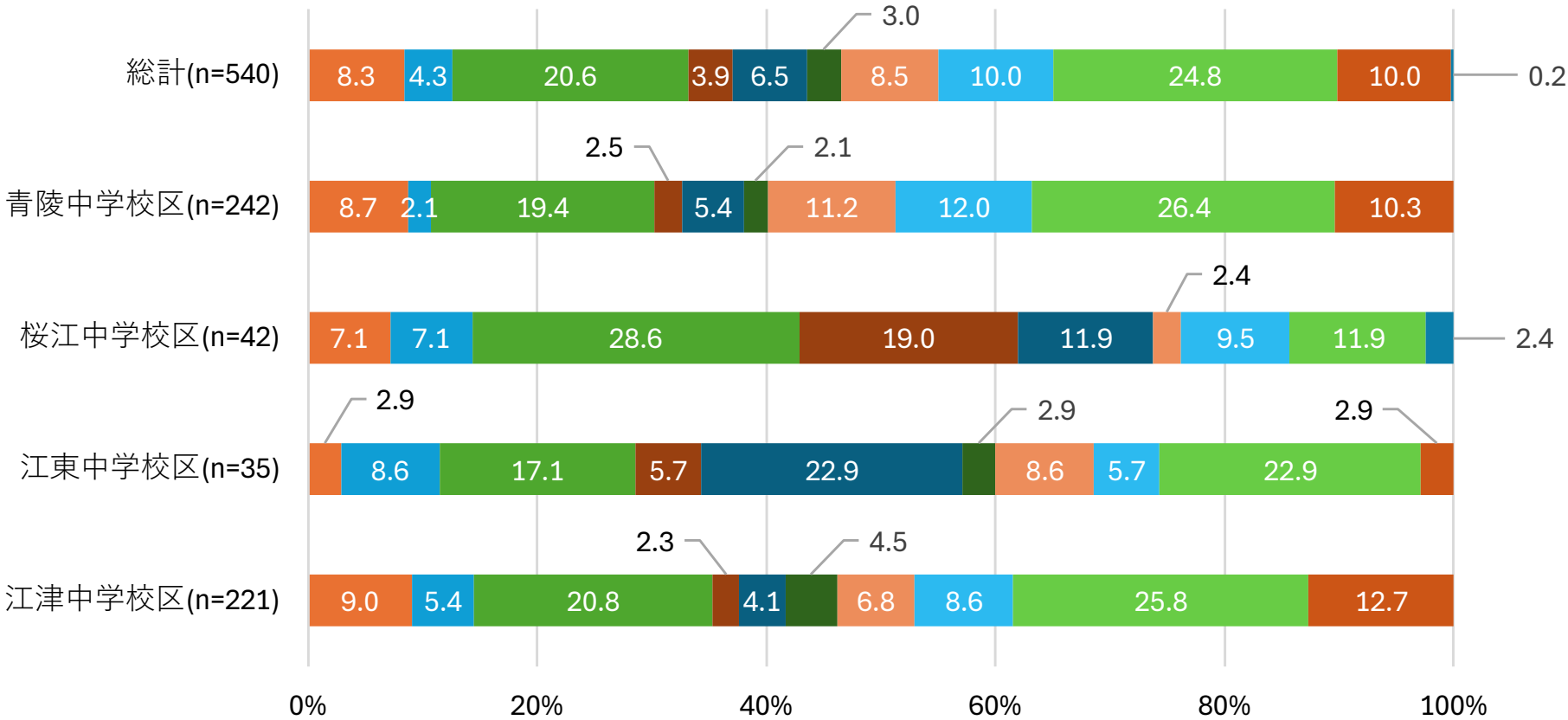
- 全体として「現状のままでよい」が約50%と最も高くなっています。
- 校区别では、青陵中学校区と江津中学校区で「現状のままでよい」が50%以上となる一方、江津中学校区と桜江中学校区では「統合を検討したほうがよい」が50%と、校区によって意見に差がみられます。



●問 2 4 現在居住中の中学校区再編についての意向の理由（現状のまま）【複数回答】

- 全体として「現状、通学距離や通学時間の負担が大きくない」、「現在の学校規模でも教育の質は確保できている」の割合が高くなっています。
- 校区别では、桜江中学校区において「地域とのつながりや、地域に根差した学校であると感じる」が高くなっています。

※ nは延べ選択数



- 統合によるメリットが、現時点では明確でないと感じるため

■ 通学距離や通学時間の負担が、現在は大きくないため

■ 少人数で、一人ひとりに目が行き届いた指導ができていると思うため

■ 子ども同士や先生との人間関係が安定していると感じるため

■ 現在の学校規模でも、教育の質は確保できていると感じるため

■ その他
- 統合により、子どもへの心理的な負担が生じることが心配なため

■ 地域とのつながりや、地域に根ざした学校であると感じるため

■ 将来の児童数の見通しが不透明で、判断が難しいため

■ 子どもが現在の学校生活に満足しているため

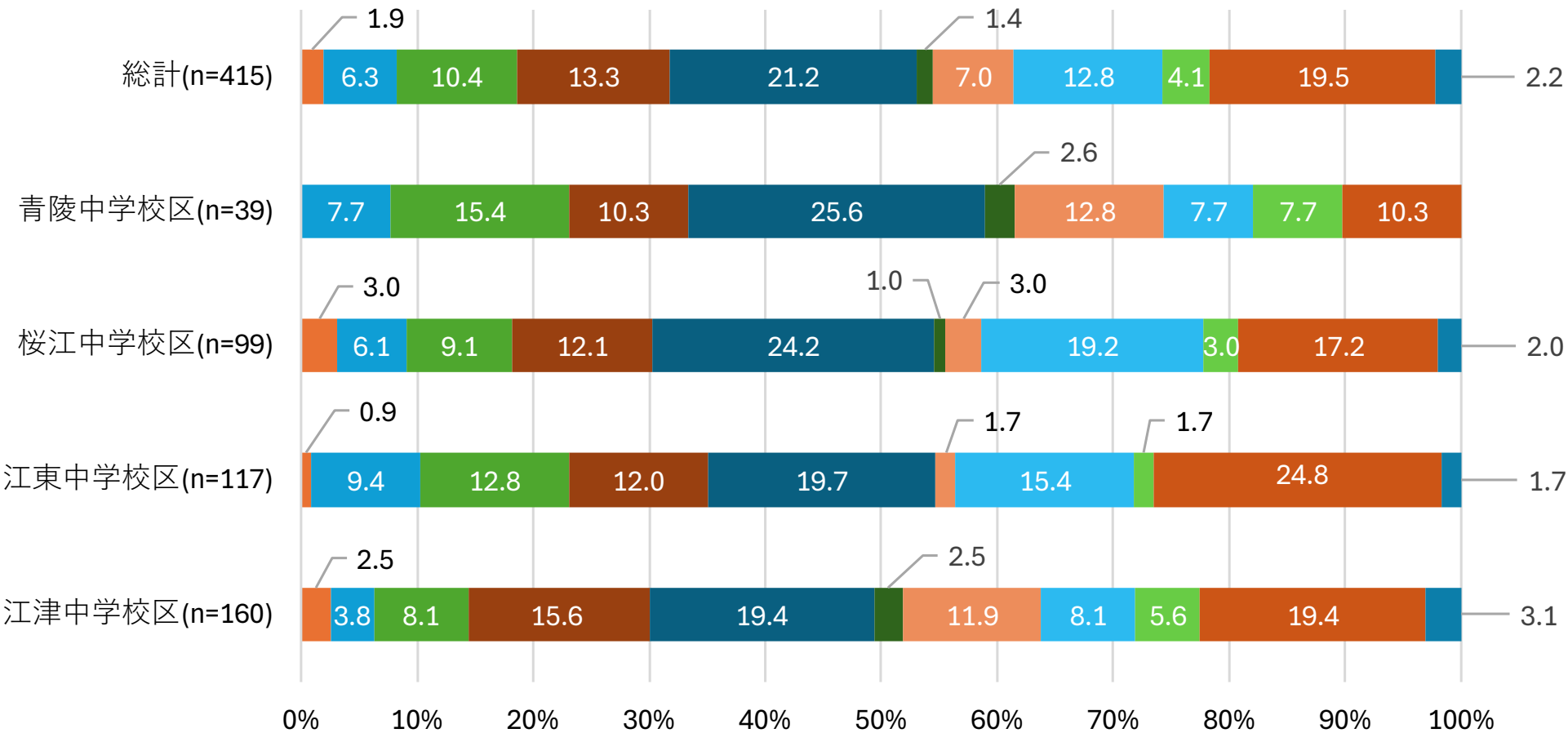
■ 学校行事や日常の活動が、今の体制でも十分に行われているため

* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 2 5 現在居住中の中学校区再編についての意向の理由（統合を検討）【複数回答】

- 全体として「児童数が減少しており、現在の学校規模の維持が難しい」、「クラブ活動や学校行事などが行いにくい」の割合が比較的高くなっています。

※ nは延べ選択数

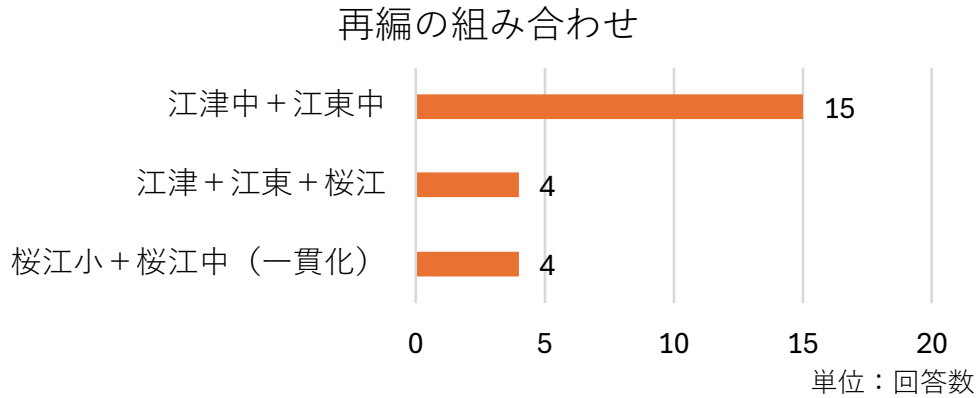
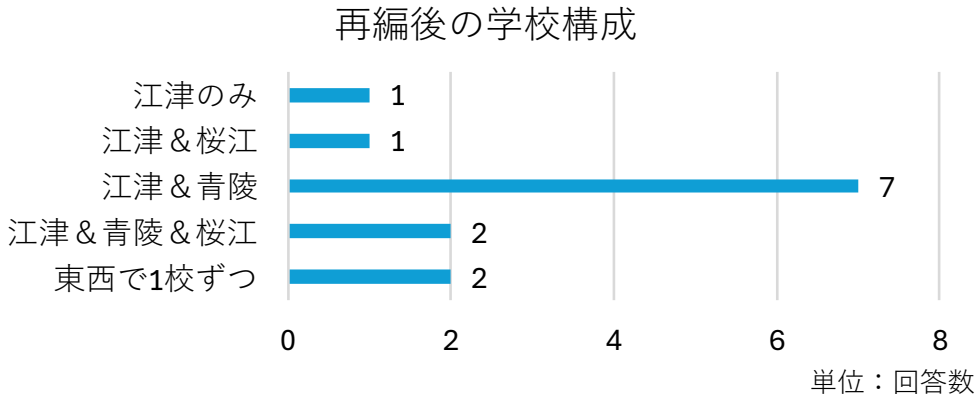
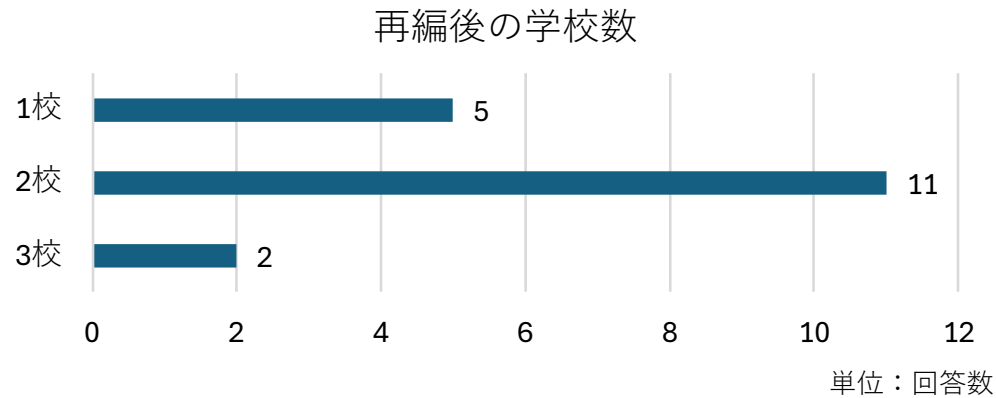


- 複式学級や少人数学級が増えることに不安を感じるため
- 多様な考え方や価値観に触れる機会が少ないと感じるため
- 児童数が減少しており、現在の学校規模を維持することが難しいと感じるため
- 学校施設や設備の維持・更新を考えると、集約した方がよいと感じるため
- 一定の人数がいた方が、教育内容や学習環境が充実すると感じるため
- その他
- 通学や生活面についても、対応策が整えば統合は可能だと考えるため
- 将来の児童数の見通しを考えると、早めに検討しておく必要があると感じるため
- 教職員体制や専門的な指導（教科指導等）が充実しやすいと感じるため
- 学級や学校の人数が少なく、友だち関係や人間関係が固定化しやすいと感じるため
- クラブ活動や学校行事などが、十分に行いにくいと感じるため

* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

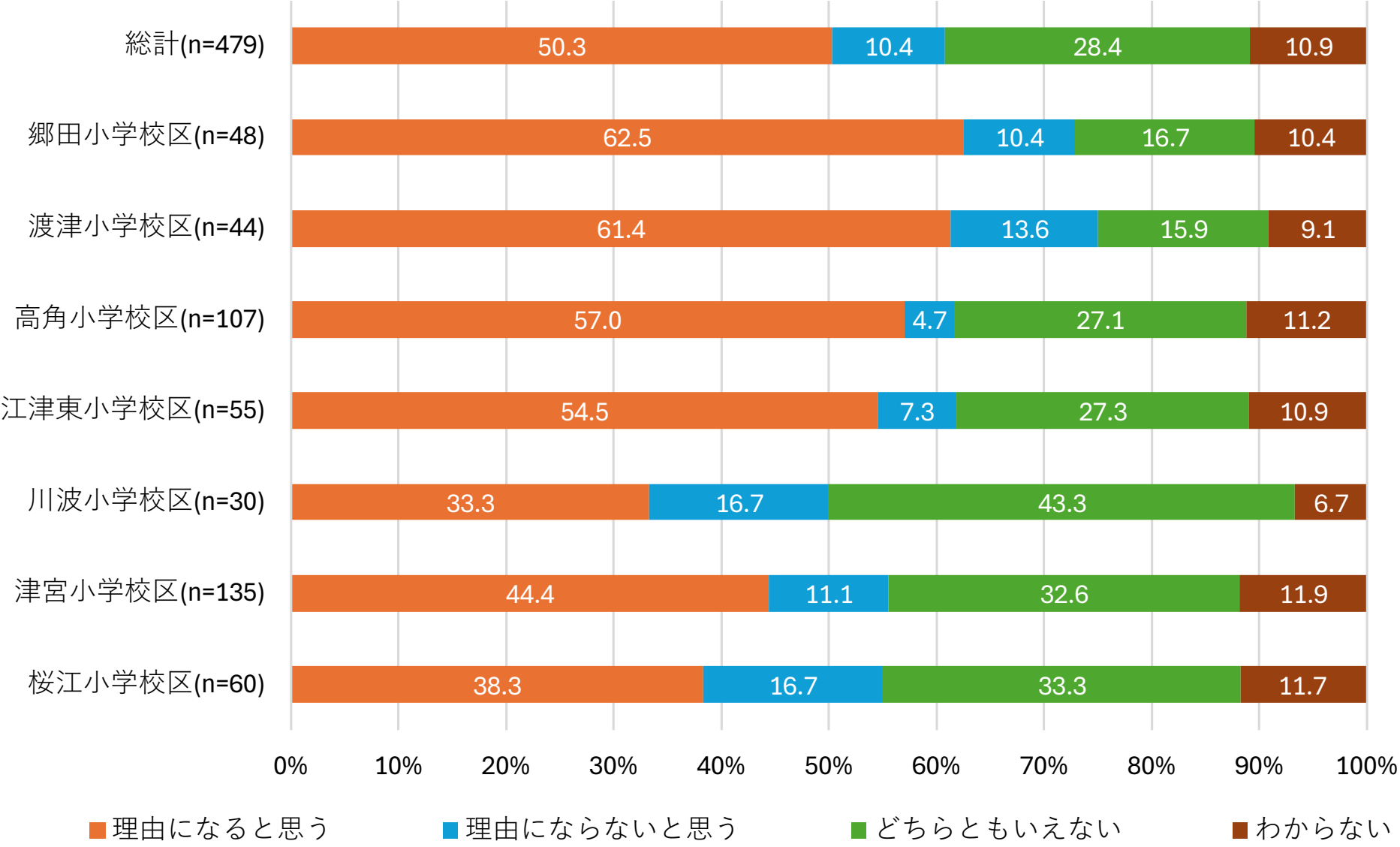
●問 2 6 現在居住中の中学校区再編のイメージ【自由回答】

- 記述内容から、「再編後の学校数」、「再編後の学校構成（どの学校を残すか）」、「再編の組み合わせ」に関するものを抽出し、集計しました。
- 再編後の学校数は、「2校」が11件と最も多くなっています。
- 再編後の学校構成は、「江津＆青陵」が7件と突出しています。明確な校名は示されなかったものの「東西で1校ずつ」との回答も2件ありました。
- 再編の組み合わせでは、「江津中＋江東中」が15件と突出しています。一方「江津＋江東＋桜江」が4件、「桜江小＋桜江中（一貫化）」も4件みられました。



●問 2 7 財政状況を理由とする学校再編に対する意向【単一回答】

- 全体として、「理由になると思う」が約50%となっています。
- 校区别では、川波小学校区と桜江小学校区では「理由にならないと思う」がいずれも16.7%と、他校区よりやや高くなっています。



肯定的な意見（要約）

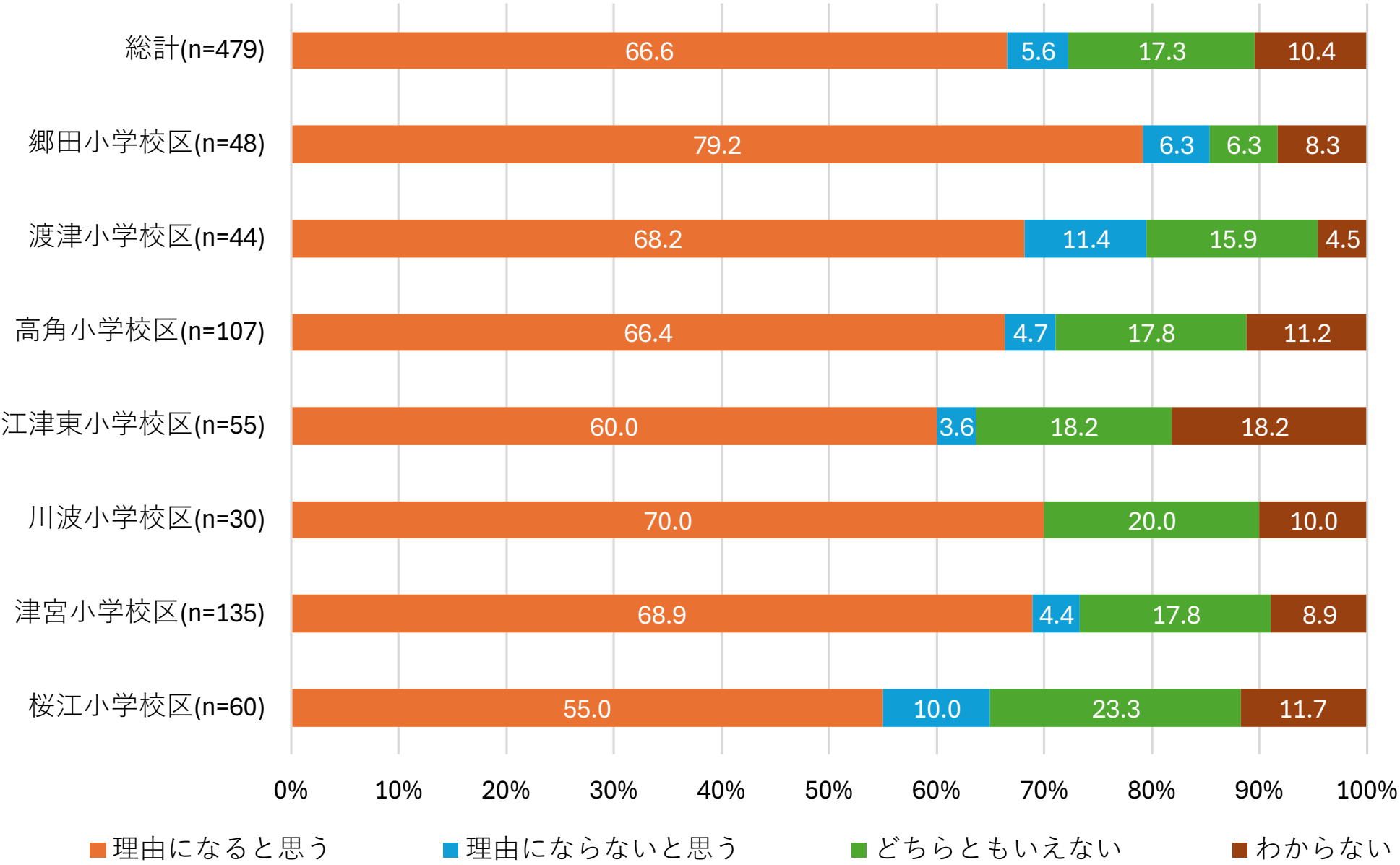
- ・ 限られた条件（財源、人口）の中ではやむを得ない。
- ・ 学校教育の質を落とさないため必要。

否定的な意見（要約）

- ・ 子どもの気持ちを考えていない。
- ・ 子どもたちの将来をお金で判断してはいけない。

●問 2 9 施設老朽化を理由とする学校再編に対する意向【単一回答】

• 全体として、「理由になると思う」が2/3となっています。



肯定的な意見（要約）

- ・老朽化は再編を考える合理的な理由。
- ・学校教育の質を落とさないため必要。
- ・子どもたちの安全のため必要。

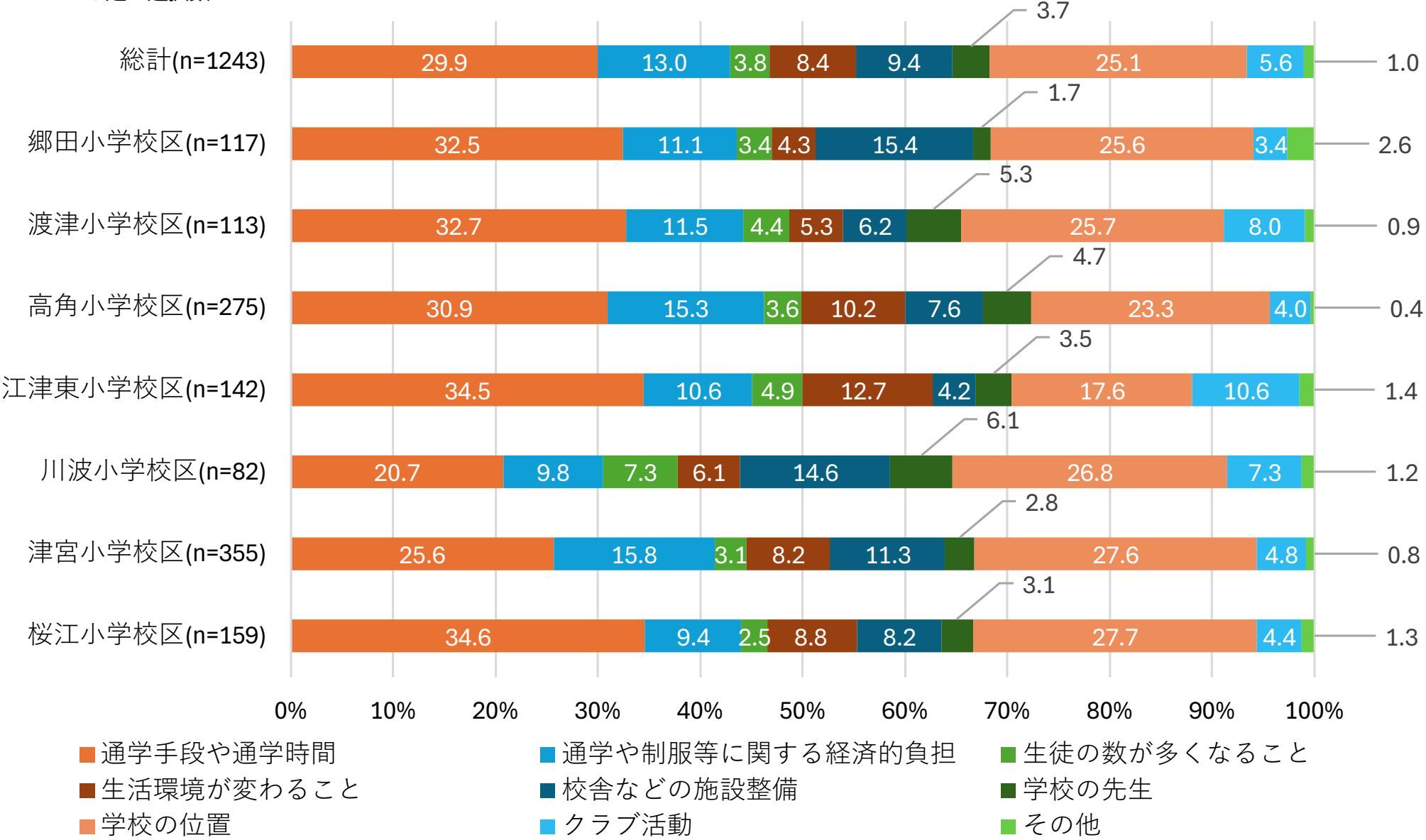
否定的な意見（要約）

- ・改修、建て替えをする財政的余裕がない。
- ・子どもの学びへの悪影響。

●問 3 1 学校再編を進める上で気になること【複数回答】

- 全体として、「通学手段や通勤手段」、「学校の位置」が約50%となっています。

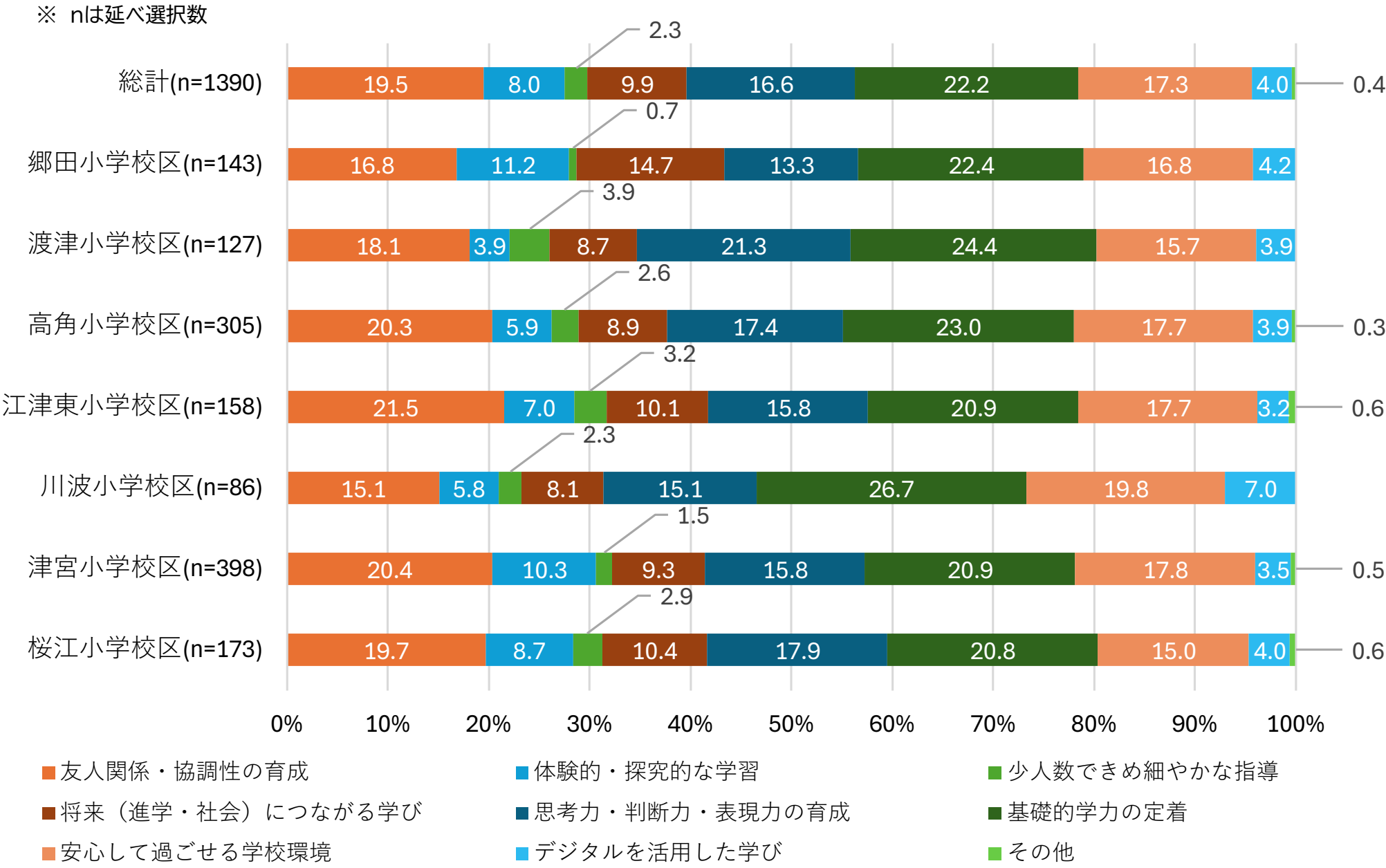
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 3 2 子どもの教育に特に大切だと思うこと【複数回答】

• 全体として、「少人数できめ細やかな指導」、「デジタルを活用した学び」の割合が低くなっています。



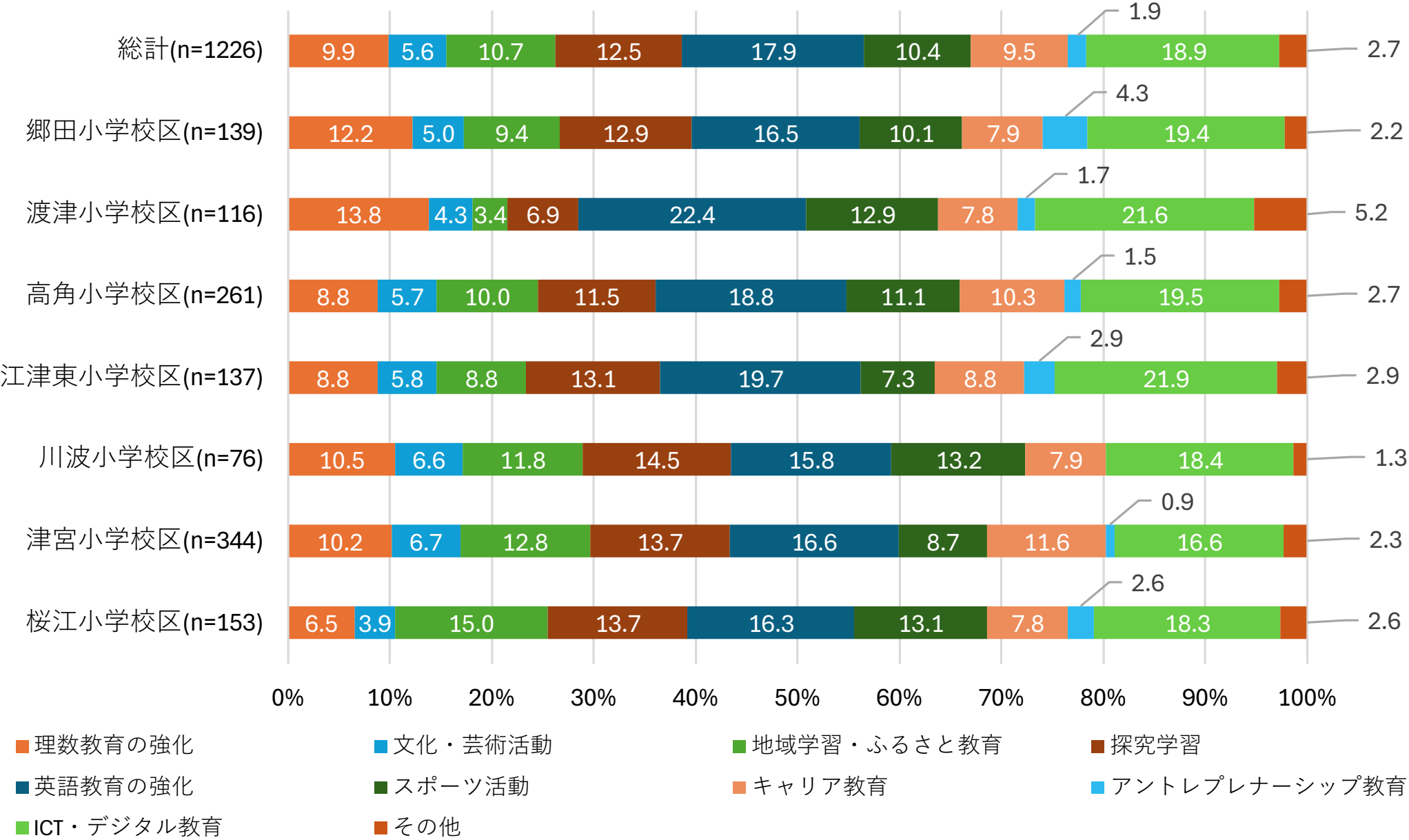
* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

36

●問 3 3 学校で特に力を入れてほしい取り組み【複数回答】

• 全体として「アントレプレナーシップ教育」の割合が最も低く、次いで「文化芸術活動」となっています。

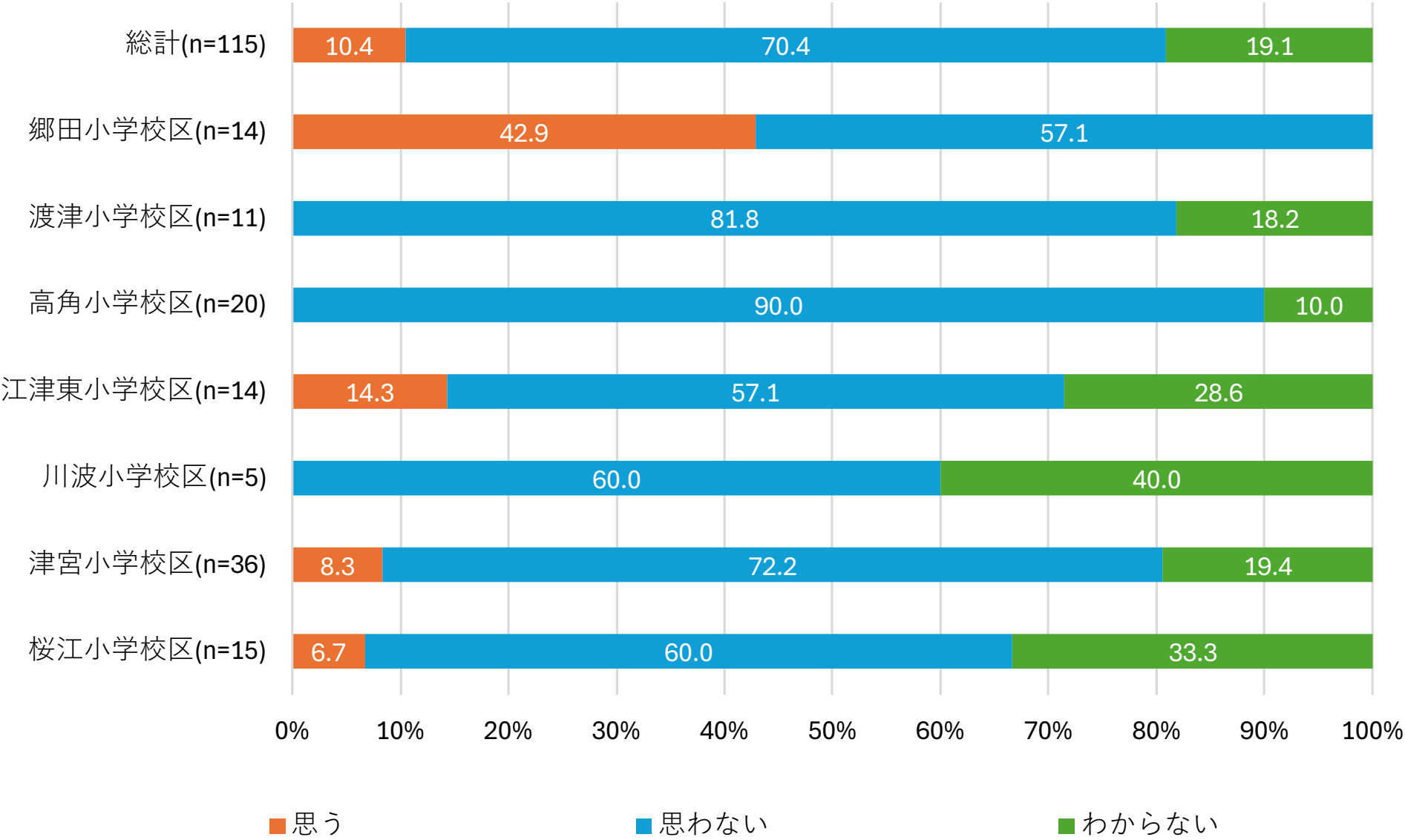
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 3 4 未就学児の小学校進学にあたっての指定校変更意向【単一回答】

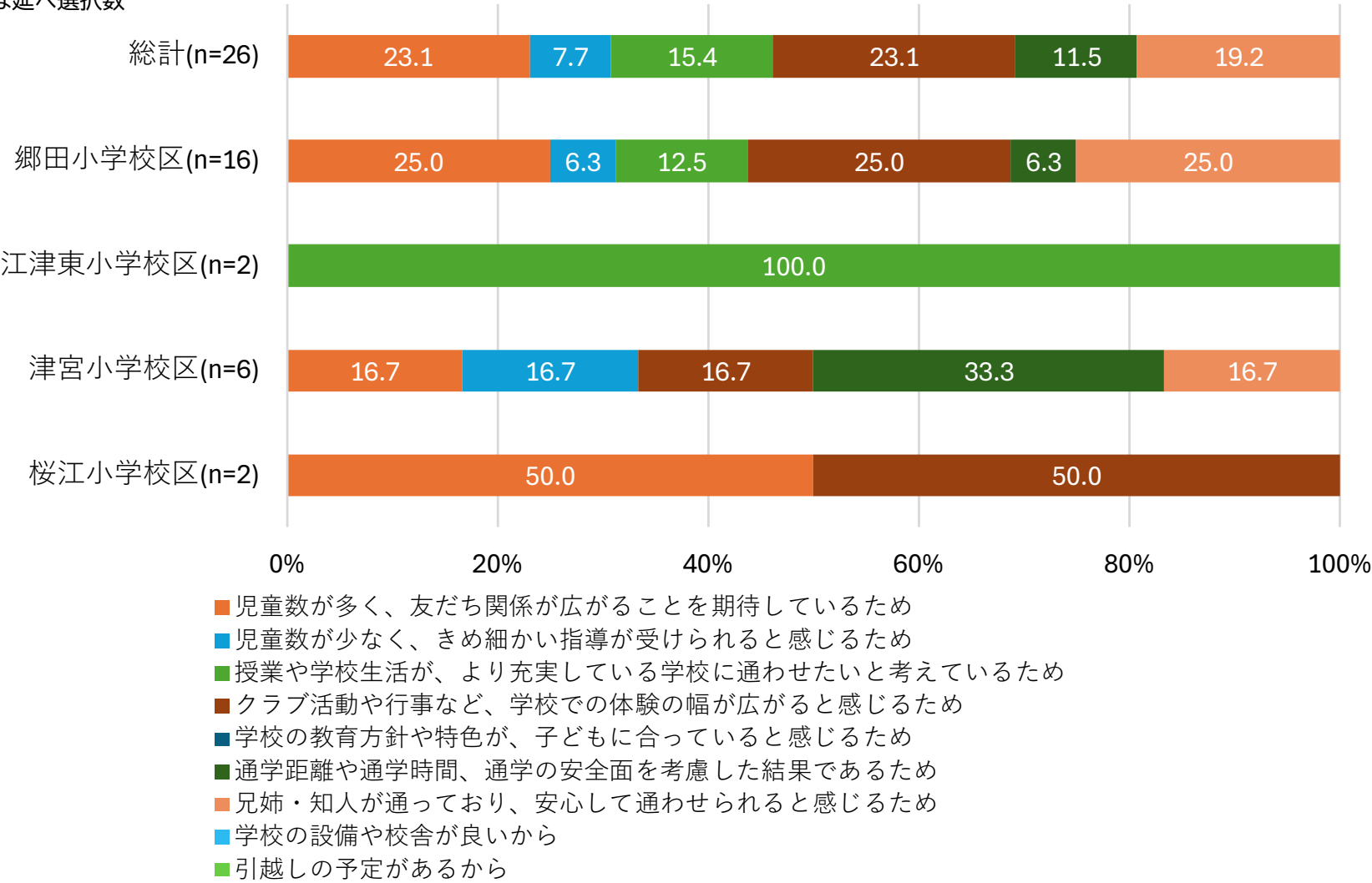
- 全体として「思わない」が約70%と最も割合が高くなっています。
- 校区别では、郷田小学校区の約43%が「思う」と回答しており、全校区の中で突出しています。



●問 3 5 未就学児の小学校進学にあたっての指定校変更意向の理由【複数回答】

- 全体として、「児童数が多く、友だち関係が広がることを期待しているため」、「クラブ活動や行事など、学校での体験の幅が広がると感じるため」、「兄弟・知人が通っており、安心して通わせられると感じるため」の割合が比較的高くなっています。
- 「学校の教育方針や特色が、子どもに合っていると感じるため」、「学校の設備や校舎が良いから」の割合は0となっています。

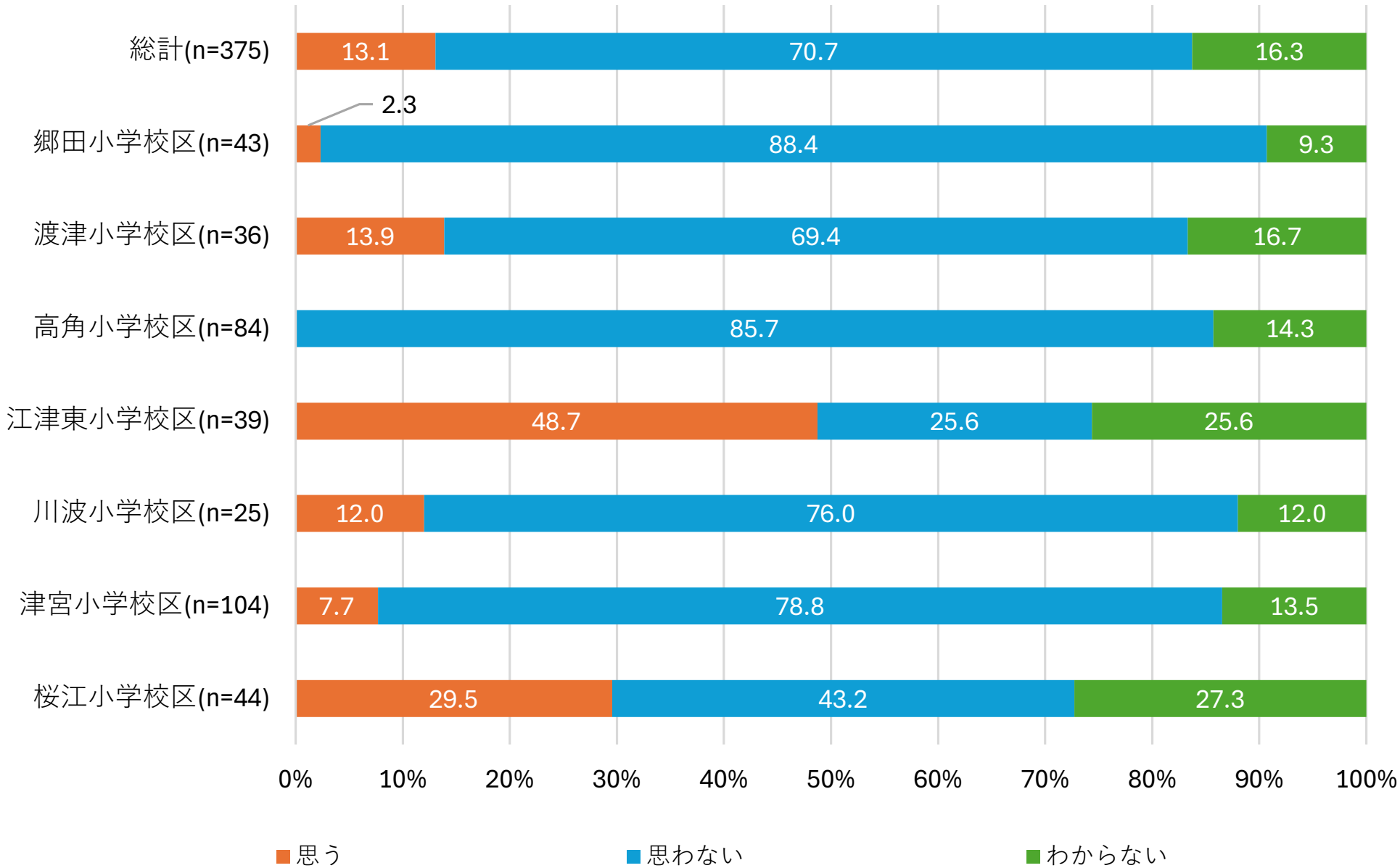
※ nは延べ選択数



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

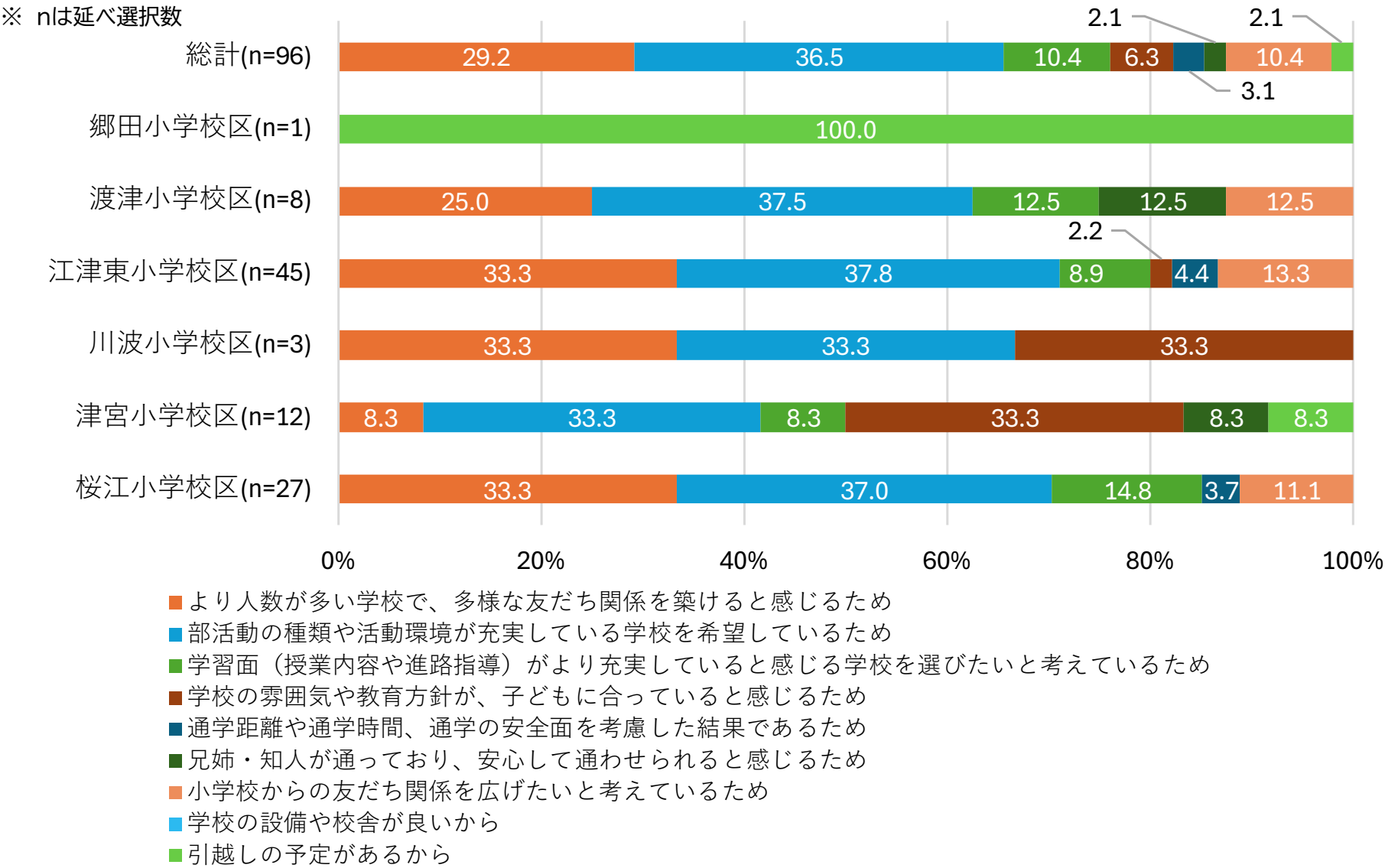
問 3 6 中学校進学にあたっての指定校変更の意向【単一回答】

- 全体として、「思う」は約13%となっています。
- 校区別では、江東小学校区、桜江小学校区で「思う」の割合が高くなっています。



問 3 7 中学校進学にあたっての指定校変更を希望する理由【複数回答】

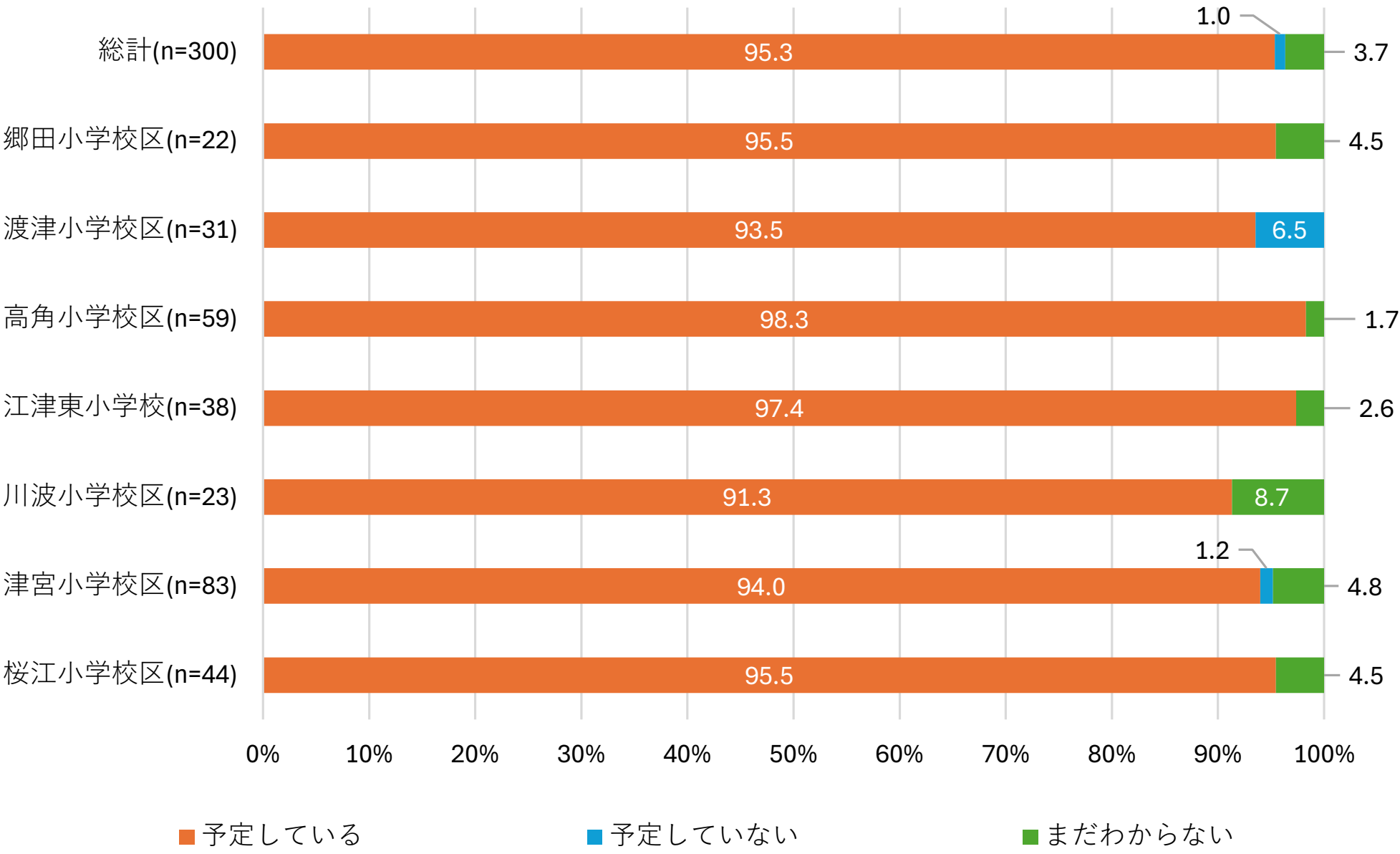
- 全体として、「部活動の種類や活動環境が充実している学校を希望」が約37%と最も高く、次いで「より人数が多い学校で、多様な友だち関係を築けると感じるため」が約30%となっています。
- 校区别では、川波小学校区と津宮小学校区にて「学校の雰囲気や教育方針が、子どもに合っていると感じるため」の割合が高くなっています。



* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。

●問 3 8 高校への進学予定【単一回答】

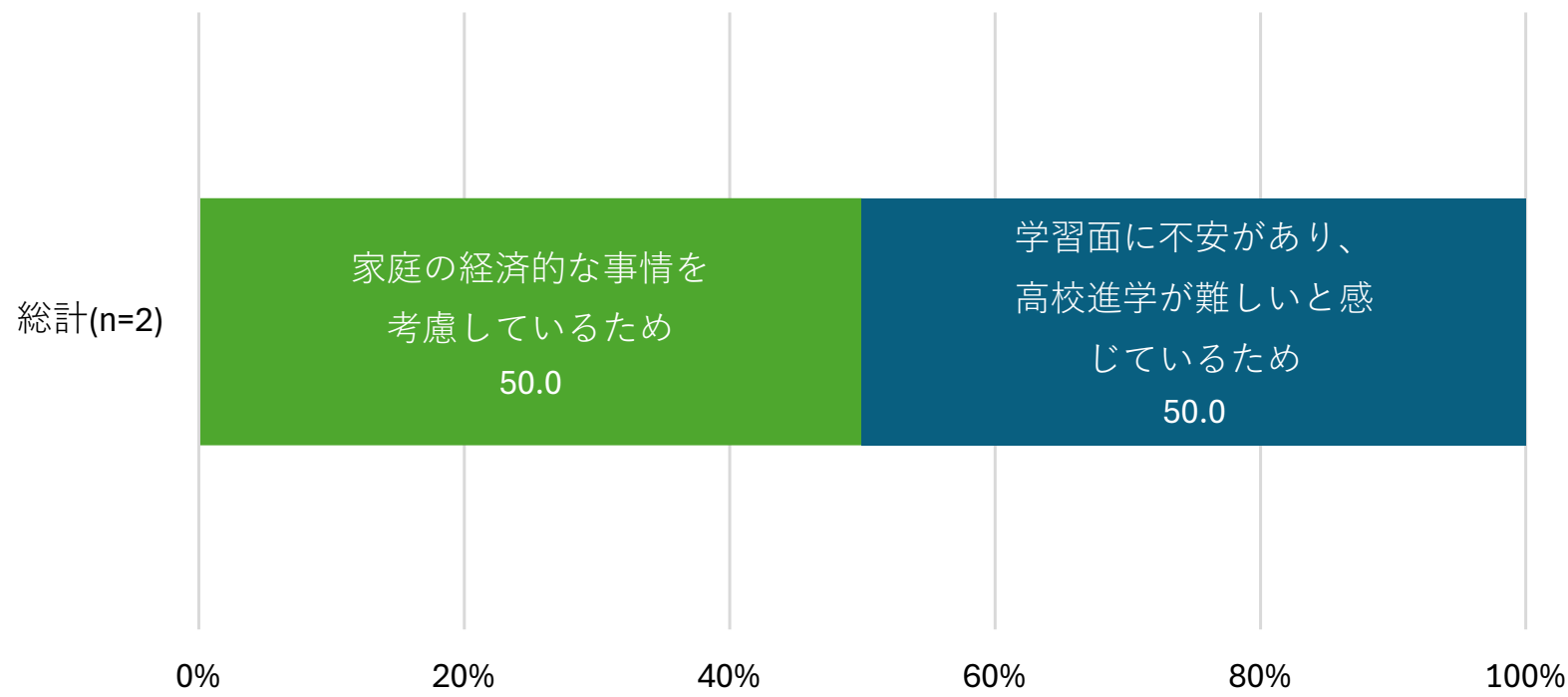
• 全体として、「予定している」は約95%を占めています。



●問 3 9 高校への進学しない理由【複数回答】

- 回答は全体で2件でした。結果は下図のとおりです。

※ nは延べ選択数



* 回答者保護のため、総計のみ記載。
* 本来、複数回答は選択数・選択率で図るべき指標ですが、本調査では他区との比較を視覚的に容易にするため、積み上げ100%グラフにて集計しています。